

美博の利用ガイド

びはくへ行こう!

もくじ

- 本書のみかた・使い方 2
- 児童生徒の学習にいきる美術博物館 3

I. 美博の利用にあたって I-1

1. 美博とは
2. 美博・考古博の利用情報
3. 美博へ行くとき、考古博へ行くとき
4. 学芸スタッフ
5. 美博の活動

II. 来館プログラム「美術博物館でできること」 II-1

1. 展示をみる
2. プラネタリウムをみる

III. 学習－郷土伊那谷を知る III-1

1. 来館学習・出前学習

IV. 体験学習－実際に体験する IV-1

1. つくる
2. できる
3. まわる

V. その他の利用 V-1

1. 美博・考古博主催事業への参加
 2. 職場体験
 3. 職員研修
 4. PTA学習・親子レク
 5. 学芸員への相談
 6. 作品の展示・発表
 7. 備品を利用する
 8. 資料を利用する
 9. 図書などを利用する
- 市民ギャラリー利用のご案内



本書のみかた 使い方

- 本書『美博利用ガイド びはくへ行こう!』は、飯田市美術博物館・上郷考古博物館と小・中学校教育との“博学連携”を推進するために作成いたしました。
- 学習指導要領には、社会、理科、図画工作・美術、総合的な学習の時間などで、美術館や博物館などの見学や調査、施設や文化財の活用を積極的に行うよう示されています。ぜひ、美術館や考古博物館をご利用ください。
- 本書は、皆さんの目に付き利用しやすい職員室などに保管ください。
- 本書は、バインダー方式で、カードを追加や差し替えができるようになっています。今後も追加や改正した同種のカードを配布しますので、追加や差し替えてお使いください。
- 本書の末尾には、透明シートホルダーが付いています。美博から配布された「年間スケジュール表」や、各種のリーフレット、講演会などの催しや展覧会・プラネタリウムのチラシなどを入れて保管ください。
- 常設展示以外の展覧会は会期が定まっています。また、以下に示された来館・出前の学習などは、館や学芸員・専門研究員の都合でできなくなる場合もあります。できるだけ早い時期にご相談ください。
- 本書をみて、利用方法や内容など、さらにくわしくお知りになりたい場合は、遠慮なく美術博物館・考古博物館に電話等でお問い合わせください。または、ホームページをご覧ください。

美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町2丁目655-7
電話 0265-22-8118 FAX 0265-22-5252
ホームページ <http://www.iida-museum.org>



上郷考古博物館

〒395-0003 長野県飯田市上郷別府2428-1
電話 0265-53-3755 FAX 0265-53-3756
ホームページ <http://www.iida-museum.org/kouko>

保育園・幼稚園や高校、社会教育施設・機関の皆さまへ

本書は、小学校・中学校での利用を主目的として作成しましたが、保育園・幼稚園や高校、公民館など社会教育施設・機関でも美術博物館をご利用いただく参考になれることを願っております。展示見学や学習(講座)など、対象にあわせて内容を変えることが可能です。

ぜひ、職員室や事務室などに備え付けていただき、美術博物館をご利用くださいますようお願いいたします。



児童生徒の学習にいきる美術博物館

学習指導要領には、社会、理科、図画工作・美術、総合的な学習の時間などで、美術館や博物館などでの見学や調査、施設や文化財の活用を積極的に行うよう示されています。



こんな学習ができます

常設展示室では

人文展示室



《社会科》伊那谷の街道や関所が一目で

自然展示室



《理科》地層の成り立ちがはっきり

コレクション展・特別展では

※その時々でテーマが変わります。



《図画工作・美術》

菱田春草没後百年記念特別展（平成23年）

感動！ 本物の作品に触れて



《理科》御池山クレーター展（平成23年）

本物を見るのと写真で見るのとは全然違い、とてもすごく感動してしまいました。絶対忘れないと思います。

（中学生）

今まで映画や本などで見て「すごい」と思っていた隕石を持つというすばらしい体験ができて、興奮しました。説明を聞いて、クレーターや隕石の性質がとてもよく分かりました。

（小学生）

デジタルプラネタリウムでは



4年生「夏の星」「月や星の動き」
6年生「月と太陽」の学習に

プラネタリウムで星を見て

椅子に座って見上げた星空は、まるで宇宙に来たような感じでした。楽しくたくさんの星座のことがわかりました。(小学生)

一般投影番組 HAYABUSAを見て

宇宙の始まりを知りたいという夢を乗せて、小惑星探査機はやぶさが、数々の困難をのりこえて地球に帰ってくる感動がいっぱいのプラネタリウムでした。(小学生)

来館学習や出前学習を行います

学校の教室で



田んぼにはどんな生き物がいるのかな



修学旅行の事前学習で仏像について詳しく学ぶ

野外に出て



ミズカマキリだよ
昆虫は口では息をしないんだ



市岡コレクションを見ながら

<学習メニュー例>

- 美術作品の鑑賞
- 伝えたい伝統行事・伝統芸能
- 自然観察
- 修学旅行の事前学習
- 先人の業績
- 発掘された飯田下伊那の歴史
- 生き物たちの暮らし
- 城下町飯田の今昔
- 伊那谷のなりたち
- 自然災害と防災

体験学習もできます

「つくる」こと



魚に見えたり
顔に見えたり
さまざまに



石に絵をかいて変身



輪積み法の縄文土器づくりに挑戦

「つくる」こと



「本当に火がついた!」火おこし体験



追手町小学校化石標本室

「まわる」こと



「空堀の跡だよ」
美術博物館と柳田國男館
の間に残る

飯田城たんけん

飯田城二の丸
本丸・山伏丸
出丸・桜丸
三の丸等の跡地



遺跡めぐり

座光寺・松尾
竜丘等の古墳や
城跡を見学



職員研修に利用できます

菱田春草の作品と生涯について



プロジェクターにより作品鑑賞
研修会に参加した先生の感想

日本絵画の近代化の中で、春草が何を求めどう変わっていったか作品とともに大きくポイントをとらえてわかりやすく話していただきました。鑑賞へのハードルが少し低くなったような気がします。郷土の偉大な先人の作品についてもっと知りたくなりました。

描くことが楽しくなる絵画の基礎指導



- 子どもらしい絵ってどんな絵？
- きれいな色をつくるパレットの使い方は？
- 生き生きとえがく筆づかいは？
- 苦手意識をとりのぞくには？

(写真は子ども美術学校のフィンガーペインティングの様子)

いろいろな見方がある 生物多様性について考える



さまざまな研修内容を用意しています



日夏耿之介記念館



柳田國男館

<職員研修メニュー例>

- 飯田市名誉市民第1号 日夏耿之介
- 日本の民俗学の創始者 柳田國男
- 伊那谷の仏像
- 「聖徳太子」伝
- 飯田下伊那の歴史
- 生物多様性の保全を考える
- 春草の仲間たちー日本美術院の活動など

記念館を見学しながら人となりや作品、業績などを研修します。

I. 美博の利用にあたって





美博とは

組 織

- ・飯田市美術博物館（美博）は、飯田市教育委員会に属し、一つの課として運営・活動しています。

施 設

- ・美術博物館は、その名のように、美術館と博物館が一体となった施設です。附属施設には柳田國男館と日夏耿之介記念館があります。
- ・飯田市上郷考古博物館は、美術博物館の分館として位置づけられ、附属施設には秀水美人画美術館があります。

美術博物館（昭和63年10月開館）

- (1) 場 所 飯田市追手町2丁目655番地7（飯田城址 二の丸跡・本丸跡）
- (2) テー マ 基本テーマ「伊那谷の自然と文化」
美術部門：「自然と人間のフュージョン（融合）」
博物部門：「きびしく豊かな自然とその中に生きる人間」
人文部門：「伊那谷の風土とそこに生きる人々」
自然部門：「豊かな伊那谷の自然とその生い立ち」
- (3) 附属施設 日夏耿之介記念館
柳田國男館

上郷考古博物館（平成5年5月開館、同7月に美術博物館の分館となる）

- (1) 場 所 飯田市上郷別府2428番地1
- (2) テー マ 「埋蔵文化財を通して探る飯田下伊那地域の古代の生活と文化」
- (3) 附属施設 秀水美人画美術館

体 制

- ・館長・副館長の下に、庶務係と学芸係があります。
- ・庶務係は、お問い合わせや申請書類等を最初に受けさせていただきます。
- ・学芸係には美術・人文・自然（プラネタリウム含む）・考古部門（考古博）の4部門があります。各部門には学芸員・専門研究員がおり、それぞれが自分の専門分野をもって、資料・作品の収集・保管、調査・研究、展覧会の企画開催、講座・講演会の開催などを行っています。館内学習や出前学習のご相談や講師などを務めさせていただきます。
- ・その他、館の運営等を諮る美術博物館協議会、各学芸部門の活動内容を相談する評議員会があります。

館の活動テーマ

美術博物館の基本テーマは「伊那谷の自然と文化」です。飯田市を含む伊那谷を主たる対象としながら、さらに長野県内はもちろん全国や海外にも目を向けて活動しています。



美博・考古博の利用情報



開館時間・休館日

◆開館時間

午前 9:30～午後 5:00 (入館終了 午後 4:30)

◆休館日

月曜日、祝日の翌日、年末年始、この他に展示替え等で臨時休館する場合がありますので、別添の「年間スケジュール」表でご確認いただくか、電話でお問い合わせください。



観覧料

●美術博物館

	一般	高校生	小・中学生	学校利用(減免)
特別展	500円(400円)	300円(250円)	200円(150円)	無料
コレクション展	310円(210円)	200円(150円)	100円(80円)	
常設展のみ	150円	100円	50円	
柳田國男館	無料 平日は本館へお申し出ください			
日夏耿之介記念館	無料 平日は本館へお申し出ください			
市民ギャラリー	無料 ※展覧会最終日は午後4時まで			

●プラネタリウム

	一般	高校生	小・中学生	学校利用(減免)
一般番組	250円(200円)	150円(120円)	50円(30円)	無料
特別番組	500円(400円)	300円(250円)	200円(150円)	

※幼児は無料。ただし座席をご利用する場合は、小・中学生の料金となります。

●上郷考古博物館

常設展・企画展 秀水美人画美術館 (共通)	一般	高校生	小・中学生	学校利用(減免)
	200円(160円)	150円(120円)	100円(80円)	無料

学校利用(減免)

学校の授業で使用される場合は、観覧料が無料になりますので、申請書をご提出ください。また、授業準備のための下見も無料となります。お電話でお申し出ください。

びはく年間パスポート会員

パスポート会員の皆さまには美術博物館に親しんでいただく様々な特典があります。

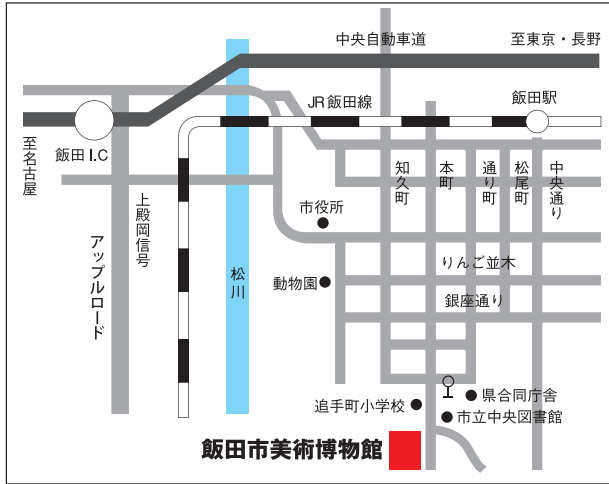
価格2,000円、有効期間は申込日より1年間(申込時にパスポートを発行いたします) ・主催する展覧会及びプラネタリウムを何度でもご覧いただけます。 ・お一人様のパスポートで、大人1名、または中学生以下なら3名までご同伴できます。 など

📍 位置・交通

・美術博物館

JR飯田駅より徒歩20分

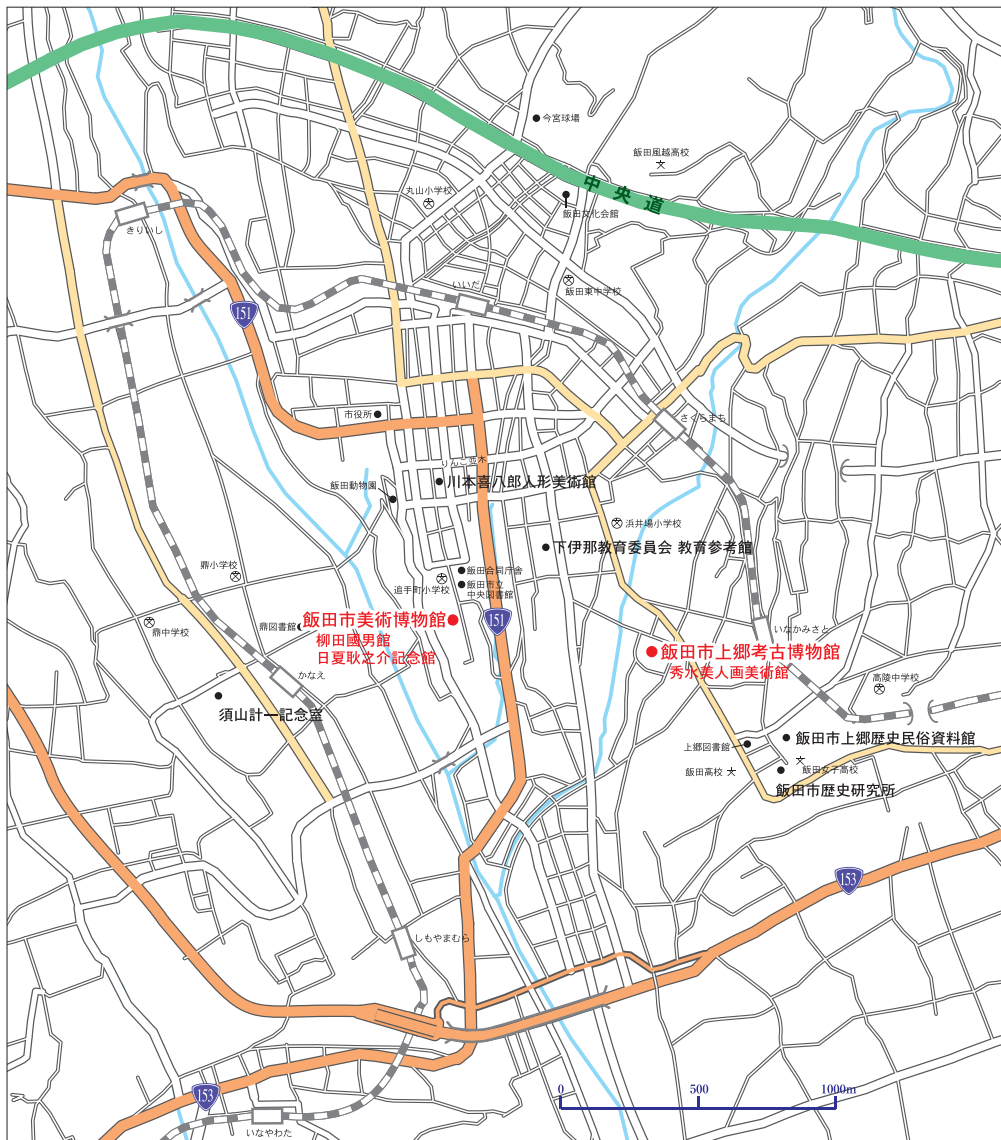
市民バス循環線「県合同庁舎前」下車徒歩5分



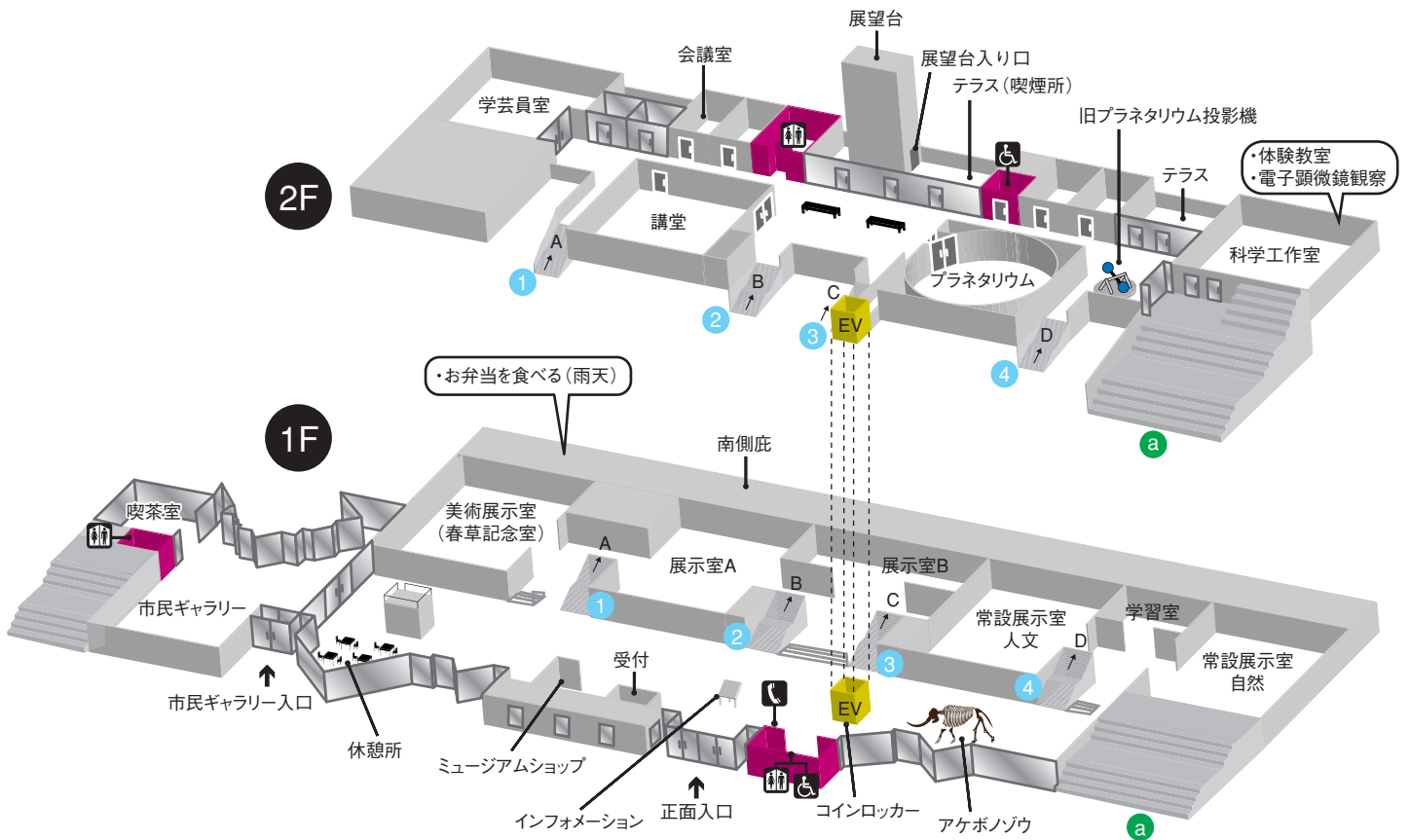
・上郷考古博物館

JR伊那上郷駅より徒歩10分

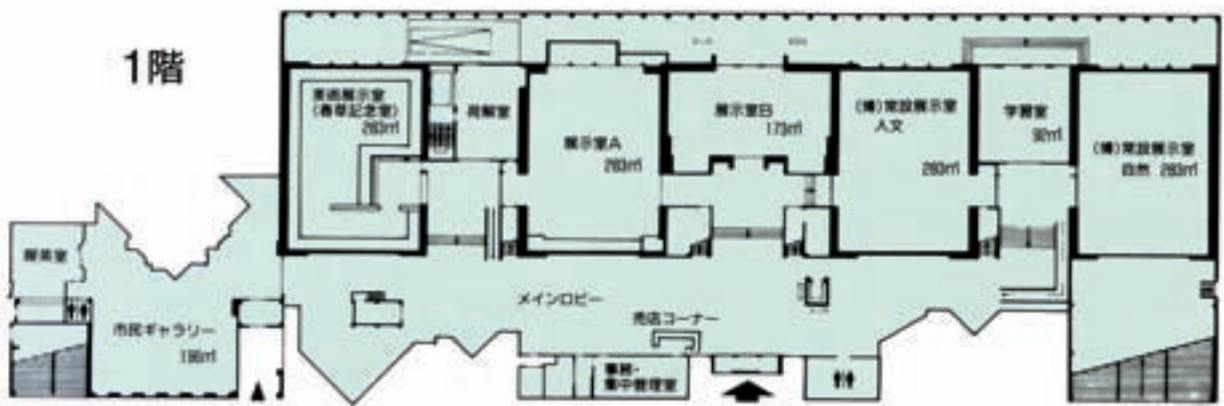
市民バス循環線「加賀沢橋」下車徒歩7～8分



 美博の周辺および館内案内



 美術博物館 平面図



美術博物館



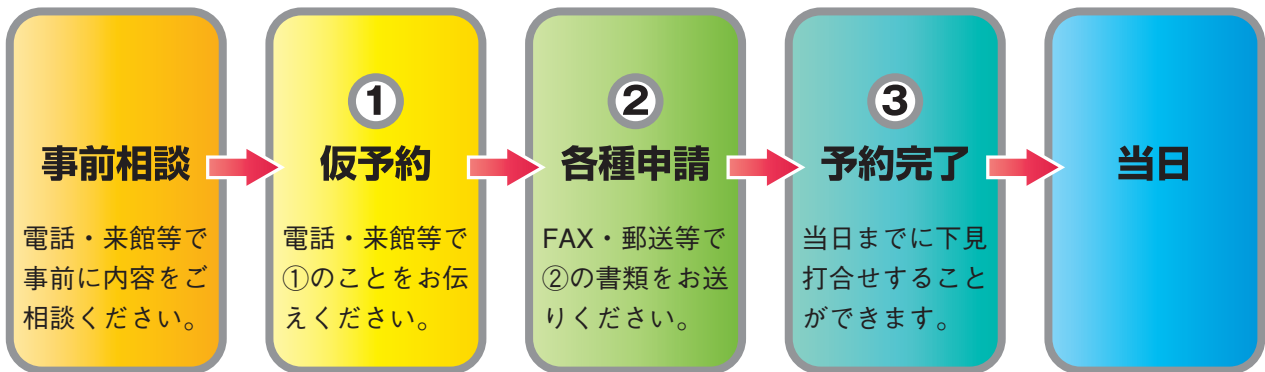
上郷考古博物館



美博へ行くとき 考古博へ行くとき

学校の授業で利用される時は無料となりますので、申請書をご提出ください。
また、授業準備のための下見も無料となります。お電話でお申込ください。

申込方法



美術博物館

①電話で仮予約する 以下のことをお伝えください。(TEL.0265-22-8118)

- 学校名 ■学年 ■担当者名 ■連絡先 ■日時……来館時間
- 目的……展示観覧・プラネタリウム観覧など
- 予定……滞在時間など ■プラネタリウム番組選定
- 人数……生徒数 引率者 ■交通手段……マイクロバス等（専用駐車場を確保いたします）

②書類の提出

- ・「飯田市美術博物館観覧料減免申請書」
- ・「プラネタリウム投影申請書」
- ・「追手町小学校化石標本室利用申請書」

③予約完了

考古博物館

①電話で仮予約する 以下のことをお伝えください。(TEL.0265-53-3755)

- 学校名 ■学年 ■担当者名 ■連絡先
- 日時……来館時間 ■予定……滞在時間など ■人数……生徒数・引率者

②書類の提出

- ・「飯田市美術博物館観覧料減免申請書」

③予約完了

到着したら

◆美術博物館

受付前で整列して人数を確認します。

- ・プラネタリウム観覧の場合…… 2Fに上がり係員の案内に従って入室、着席ください。
- ・展示観覧の場合……担当学芸員が受付に待機していますので、案内に従ってお進みください。

◆考古博物館

- ・職員が受付に待機していますので、案内に従ってお進みください。

特別支援学級の見学

◆美術博物館

- ・バリアフリー・エレベーター・多目的トイレ等設備があり、安心してご利用いただけます。
車椅子の生徒さんがいる場合には、お申込時にその旨をお伝えください。マイクロバス等は玄関先まで入れます。なお、降車後はバス専用駐車場へ駐車してください。
車椅子：3台

◆考古博物館

- ・平屋造りです。バリアフリーで多目的トイレがあり、安心してご利用いただけます。
車椅子：1台

休む・お弁当を食べる

「のりもの遠足」「飯田見学」などで来館された場合、外庭などでお弁当を食べることができます。

◆美術博物館

通 常……美博の外庭
雨天の場合……ご相談ください。

◆考古博物館

通 常……外庭 芝生の上
雨天の場合……ご相談ください。



学芸スタッフ

館の活動を担っているのが学芸員と専門研究員です。このうち、学芸員は「博物館法」で美術館・博物館に置くことが義務づけられた専門職です。それぞれに専門分野をもって活動しています。

各分野の専門家が揃っていますので、学習の内容や方法など遠慮なくご相談ください。



学芸スタッフ (平成24年度)

部 門	氏 名	職 名	担 当
	滝 沢 具 幸	館 長	日本画
美 術	小 島 淳	学 芸 員	近代現代絵画
	吉 川 金 利	学 芸 員	工芸
	丸 山 陸 雄	専 門 研 究 員	絵画、子ども美術学校
人 文	櫻 井 弘 人	学 芸 員	民俗文化、柳田國男、田中芳男、飯田城
	織 田 顕 行	学 芸 員	仏教文化、日夏耿之介、お茶
	西 脇 藍	専 門 研 究 員	文化史、能楽史
自 然	村 松 武	学 芸 員	地質
	四 方 圭一郎	学 芸 員	昆虫、身近な生き物
	蛭 間 啓	専 門 研 究 員	植物
	山 田 拓	専 門 研 究 員	プラネタリウム、セミ、鳥
	坂 本 正 夫	専 門 研 究 員	地質、隕石クレーター、根羽火山
	柳 澤 望	専 門 研 究 員	プラネタリウム
考 古 博	市 沢 英 利	考 古 博 館 長	考古
	吉 川 豊	主 査	考古
	樋 本 宣 子		考古



美博を取り巻く団体と人

美術博物館・考古博物館の活動は、じつに多くの人たちによって支えられています。地域の方の中には「伊那谷の自然と文化」について深い研究をされたり、それに係わるお仕事や体験をされていたりして、児童・生徒にお話しできる方もいらっしゃいます。場合によっては、そうした方々を紹介することもできます。

美博と関係深い主な市民研究団体

分 野	団 体 名
総 合	伊那谷研究団体協議会、南信州文化財の会、伊那史学会など
美 術	下伊那教育会菱田春草研究会など
人 文	柳田國男記念伊那民俗学研究所、伊那谷地名研究会、下伊那考古学会 など
自 然	伊那谷自然友の会、はなのき友の会、飯田昆虫友の会 など



美博の活動

美博の活動

◆沿革

昭和62年	10月	落成式 開館し一部公開始まる。
	11月	プラネタリウム投影開始。
平成元年	10月 8日	正式開館。 常設展示・柳田國男館・日夏耿之介記念館の公開始まる。 特別展「菱田春草—空間表現の追求—」開催。
平成 3年	10月	特別展 春草没後80周年記念「天心傘下の巨匠たち」開催。
平成 5年	7月	上郷町との合併により、上郷考古博物館と秀水美人画美術館が分館・付属施設となる。
平成 6年	4月	企画展「生誕120周年記念 菱田春草展—郷土に残された作品を中心に—」開催。
	7月	飯田市制60周年記念特別展「生命史20億年—ヒトのルーツをさぐる—」開催。
平成10年	4月	開館十周年記念特別展「天心傘下の巨匠たちⅡ—朦朧体期を中心として—」・「長谷川コレクション—ゾウ化石の発掘から復元まで—」・「人形の魔術師川本喜八郎展」・「天竜川」開催。
平成14年	9月	文化庁の認める「公開承認施設」となる。
	10月	菱田春草の代表作品「菊慈童」を購入する。
平成15年	4月	新収蔵記念菱田春草展「菊慈童・自然と人間のフュージョン」開催。
	5月	「菊慈童の購入を願う市民会議」より募金活動で集まった総額51,278,445円の寄附金を受ける。
平成16年	4月	追手町小学校化石標本室開設。
平成17年	10月	上村と南信濃村との合併により、上村山村文化資源保存伝習施設・付属施設山村ふるさと保存館ねぎや、南信濃民芸等関係施設を包含する
平成18年	7～11月	新飯田市誕生記念企画展「遠山大地変と埋没林」・「遠山霜月祭の世界—神・人・ムラのよみがえり—」開催
	8月	第1回美博まつり
平成19年	4月	「飯田大火60年—まちを変えた大災害をふりかえる—」開催
	7～11月	飯田市制施行70周年記念特別展「水谷章人写真展—スポーツ報道1968～2007 アスリートの記憶—」・「絵画のなかの物語—菱田春草『王昭君』と日本美術院の歴史画—」開催
平成20年	6月	開館20周年記念式典開催。「田中芳男の胸像等制作を願う会」より胸像の寄贈を受けて除幕式を開催する。
	6～10月	開館20周年記念として企画展「ハナノキ湿地の自然史—赤き楓のかなでる交響楽—」・企画展「信州喫茶事始—お茶をめぐる文化誌—」・特別展「江戸南画の潮流Ⅱ 文晁・華山の新感覚」等を開催
	7月	びはく年間パスポート会員を募集開始
平成21年	11月	第1回びはく学芸祭「伊那谷の自然と文化」開催
平成22年	3月	飯田お練り祭り協賛特別展「信州飯田領主堀侯—日本を動かした郷土の外様大名—」開催
	10月	全国獅子舞フェスティバル・飯田協賛特別展「獅子舞—ユーラシアから伊那谷へ—」開催
平成23年	3月	プラネタリウムリニューアル。デジタル式プラネタリウムとなる。
	9月	菱田春草没後百年記念特別展「春草晩年の探求—日本美術院と装飾画—」開催

Ⅱ.来館プログラム「美術博物館でできること」



来館プログラム「美術博物館でできること」

1. 展示をみる

美術館や博物館の魅力は、なんといっても美術品や資料、標本などの本物を見ることができるところです。本物の一つ一つは多くの情報をもっています。写真や映像ではわからない、いろんな情報が詰まっています。担当の学芸員が説明すると、より理解が深まることでしょう。

■美術博物館・考古博物館の展示

美術部門（美術博物館で美術を中心に担当する係です）

- ・コレクション展……人文・自然部門・考古博のような常設展示がない美術部門が、代わりに館蔵品を中心にして1ヶ月から2ヶ月ごとにテーマや作品を入れ替えて行う展示です。
- ・特別展……テーマを決めて開催される大きな展覧会です。館蔵品だけでなく県内や全国から美術品を借りて行うことがあります。有名な美術品がそろふことがあります。

人文部門（美術博物館で歴史や民俗、文化史などを担当する分野です）

- ・常設展示……常設展示室で常時行っている展示です。メインテーマ「伊那谷の風土とそこに生きる人々」に沿って、伊那谷の各時代や民俗芸能、文化財などを紹介しています。
- ・特別展・企画展……テーマを決めて、館蔵品や各地から借り集めた資料で行う展示です。そのテーマについて深く理解できます。

自然部門（美術博物館で自然―地質・生物・植物などを担当する分野です）

- ・常設展示……常設展示室で常時行っている展示です。「豊かな伊那谷の自然とその生いたち」をテーマとしています。
- ・特別展・企画展……テーマを決めて行う展示です。そのテーマが深く理解できます。

考古博物館（主に考古博物館で考古資料を中心に担当する分野です）

- ・常設展示……考古博物館に専門分野の常設展示室をもっています。
- ・特別展・企画展……大きな展覧会は美術博物館を会場にして行います。

以上、部門ごとに紹介しましたが、各部門・考古博が協力し合って一つのテーマを追究する展覧会も開催しています。

■付属施設その他

柳田國男館・日夏耿之介記念館（美博の付属施設です。人文部門が担当しています）

追手町小学校化石標本室（追手町小学校の地下の教室を利用して化石を展示しています。自然部門が担当しています）

秀水美人画美術館（考古博の付属施設です）

2. プラネタリウムをみる

従来の光学式プラネタリウムに代わって導入された最新のデジタル式プラネタリウムは、天文だけでなく、郷土の文化や自然の学習を可能にしました。一般番組やオリジナル番組を自由に組み合わせたり、さらに学芸スタッフの解説や常設展示等の見学と組み合わせたりと、多彩な利用ができます。

● 菱田春草と伊那谷の美術

学習テーマ（学習指導要領との関係など）		対 象	観覧料
<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵画など芸術作品に親しむ ・ 郷土を描いた画家たちの業績を知る 		小・中学生	減免あり
教 材	人 数	所用時間	担 当
	5～20人	15～45分	美術部門

◆ 概 要

- ・ 美術博物館では、年間に10回程度開催するコレクション展示において、飯田出身の日本画家・菱田春草や伊那谷ゆかりの作家たち、あるいは飯田の収集家が集めた作品など、様々な美術品を紹介しています。

◆ 学習内容

〈菱田春草と美術院作家〉

- ・ 菱田春草は、明治時代を代表する飯田出身の日本画家です。横山大観や下村観山らと日本画の近代化をめざし、西洋絵画の写実性を取り入れた“朦朧体”と呼ばれる画風をつくり出しました。後には装飾的な画風になり、「落葉」や「黒き猫」という名作を描きました。

このような菱田春草の当館所蔵の作品と、美術院作家の作品を鑑賞します。

菱田春草の作品

- ・ 美術学校時代の作品から、朦朧体時代の代表作「菊慈童」「靈昭女」「鹿」、晩年の「春秋」など30点の作品を6期に分けたコレクション展で鑑賞することができます。

日本美術院作家の作品

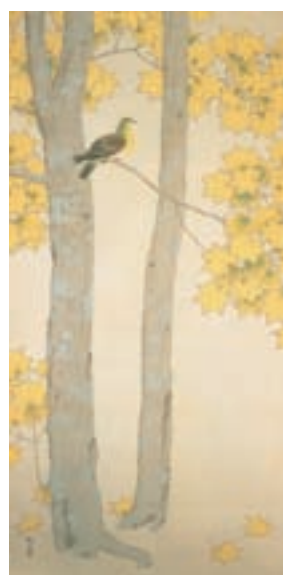
- ・ 横山大観、下村観山、西郷孤月、木村武山など、春草とともに日本美術院にて研究を続けた画家の14点の作品も各期のコレクション展で鑑賞することができます。

〈伊那谷ゆかりの作家たち〉

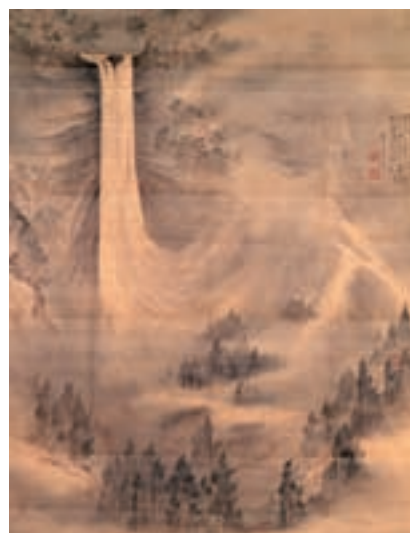
- ・ 飯田下伊那ゆかりの作家たちの作品も収蔵しており、これらもコレクション展で紹介しています。

江戸時代の南画家たち

江戸時代には、佐竹蓬平と鈴木芙蓉という全国的に知られた南画家が生まれています。江戸や諸国を旅行して研究を深め、独自の画風をつくりました。原蓬山は佐竹蓬平の画風に学んで郷里の南画文化を継承しました。



菱田春草「春秋」



鈴木芙蓉「那智瀑泉真景図」

近代の日本画家たち

- ・明治時代には安藤耕斎や大平小洲という南画家が登場します。春草以後にも福与悦夫や亀割隆という日本画家があらわれました。明治時代のはじめには、京都の南画家富岡鉄斎が飯田に来遊して影響を与えました。

近代の洋画家たち

- ・洋画は伊那谷では大正期より盛んになり、横井弘三や須山計一らが中央画壇で活躍しました。また戦時中には正宗得三郎などが疎開しています。

〈その他のコレクション〉

飯田の地は、古くより風雅な文化が好まれ、書画の鑑賞が盛んでした。商家を中心に多くの収集家が生まれ、様々な作品が飯田に集まっています。往事の文化を偲ぶことのできる貴重なコレクションです。また、作家が寄贈したコレクションも収蔵しています。

飯田町のコレクション

- ・飯田の呉服商であった井村家と岩崎新太郎家から寄贈された書画コレクションを収蔵しています。これらは飯田の書画文化を伝える貴重な作品群です。

綿半野原コレクション

- ・綿半野原グループからの寄贈品です。中国陶磁器や印籠根付といった工芸作品や、現代日本画を収録する大規模なコレクションです。

作家寄贈のコレクション

- ・洋画家の須田剋太・正宗得三郎・吉川安雄・山本弘、彫刻家の倉沢興世、工芸家の北原三佳・熊谷好博子・広瀬忠一、写真家の藤本四八など、本人やご遺族から寄贈されたコレクションです。

◆学習方法

- ・学芸員が説明しながら展示室を回ります。人数が多い場合は、スライドで春草の生涯や伊那谷ゆかりの作家たちの紹介をおこない、他方で実際の作品を鑑賞することもできます。
- ・事前にご相談いただき、最も効果的な方法で鑑賞します。

◆おすすめ

- ・鑑賞教育
- ・菱田春草を学ぶ
- ・郷土の作家を学ぶ
- ・郷土の文化を学ぶ



竹内栖鳳「懶猫図(部分)」



「青花葡萄棚文水指」

● 豊かな伊那谷の自然とその生き立ち

学習テーマ（学習指導要領との関係など）		対 象	観覧料
<ul style="list-style-type: none"> ・伊那谷のなりたちを学ぶ ・伊那谷に生きる動物・植物について学ぶ 		小・中学生	減免あり
教 材	人 数	所用時間	担 当
	5～20人	15～30分	自然部門

◆ 展示テーマ

- ・伊那谷は日本一起伏の大きな中部山岳の南部に位置し、東西を二つのアルプスに境された南北に細長い盆地です。この豊かな伊那谷の自然と、その生き立ちについて紹介します。

◆ 学習内容

＜起伏に富んだ伊那谷とその生き立ち＞

- ・木曾山脈（中央アルプス）の山麓から伊那谷と南アルプスを望むパノラマを見ると、伊那谷の起伏の大きさを実感できます。ここでは伊那谷が生まれたのが、大地の歴史からみると、ほんの最近（過去200万年間）の出来事であることを紹介します。

＜伊那谷の春＞

- ・伊那谷は南北に長く、大きな起伏を持っているため、地形的にも気候的にも変化に富んだ地域です。この多様な環境に支えられて数多くの生き物が生息しています。ここでは伊那谷の春をテーマにしたジオラマを通して、多様な植物と動物の姿、そして動物の繁殖サイクルなどを学ぶことができます。



伊那谷の春

＜伊那谷の起源＞

- ・伊那谷をつくる最も古い岩石は、古生代ペルム紀（3億～3億5000万年前）の緑色岩・チャート・石灰岩です。これらは赤道付近の遠洋で生まれ、北西へゆっくり移動するプレートにのって運ばれ、中生代ジュラ紀（2億～1億5000万年前）にアジア大陸東縁に付け加わりました。その証拠の一つである小さな化石を見ることができます。

＜恐竜時代の伊那谷＞

- ・恐竜が最後の時代を謳歌する中生代白亜紀（1億5000万～6500万年前）の後半になると、海側ではプレートの沈み込みによって付加体がつくられ、大陸が東へ成長していきました。このときにできた付加体は、おもに砂岩や泥岩からなり、赤石山地（南アルプス）の山々をつくっています。一方、大陸側では地下からマグマが上がってきて大規模な火山活動がはじまりました。マグマは地下でゆっくり固まって花崗岩になったり、地表に噴きでて火山岩になったりしました。これらの岩石は木曾山脈（中央アルプス）から伊那山脈にかけての大地をつくっています。ここでは伊那谷の土台をつくる岩石の他に、巨大な火山活動を体験したり恐竜標本を見たりすることができます。

＜古代ザメの泳ぐ富草の海＞

- ・恐竜が滅び、新生代中新世（2300万～500万年）の中頃になると、伊那谷南部の阿南町富草から飯田市千代にかけて海が広がるようになります。この海には巨大なサメやクジラなどの脊椎動物の他に、多くの貝（軟体動物）やエビ・カニ（甲殻類）などがすんでいました。海の周囲には現在の瀬戸内海のような白砂青松の海岸がひろがり、デスモスチルスやパレオパラドキシアなどのほ乳類が生息していました。ここではたくさん化石とともに巨大な古代ザメが見られます。

<伊那谷の地質>

- ・伊那谷の立体地質模型とその周囲に配置された伊那谷の代表的な岩石を見ることができます。また伊那谷の起伏をつくり、山と盆地を分化させた活断層のはぎ取り標本を見ることができます。

◆学習方法

- ・学芸員が説明しながら展示室をまわります。
- ・人数が多い場合は、2班に分けて、人文と自然の常設展示室とに分かれて見学し、途中で交替するとよいと思います。さらに大人数の場合は、企画展示やプラネタリウムなどの見学と組み合わせる方法もあります。
- ・地域の話に絞って理解を深めたり、教科書にあわせて実物資料を見学したのち、講堂で学芸員・専門研究者から説明を聞くのも効果的です。

◆おすすめ

- ・授業（単元）にあわせた学習
- ・大地のなりたちに関する総合学習
- ・地震と活断層や、土砂災害と地質などに関する防災学習

◆展示室レイアウト



●きびしく豊かな自然と、そこに生きる人びと

学習テーマ（学習指導要領との関係など）		対 象	観覧料
・伊那谷の歴史・伝統・文化について総合的に学ぶ		小・中学生	減免あり
教 材	人 数	所用時間	担 当
	5～20人	15～30分	人文部門

◆展示テーマ

- ・伊那谷（飯田下伊那）の歴史と民俗・文化について紹介しています。

◆学習内容

〈遺跡や史跡・祭りの分布〉

- ・展示室の入口正面にある巨大な地形模型では、諏訪湖から太平洋まで天龍川流域と飯田下伊那の文化情報の分布が点滅で示されます。

〈伊那谷の原始〉

- ・旧石器時代から縄文時代・弥生時代・古墳時代を紹介します。山本の石子原遺跡の旧石器はわが国で最も古い部類の石器といわれています。さまざまな縄文土器、石器を使い続けた弥生時代、そして全国でも有数の馬生産地であった古墳時代を紹介しています。なかでも松尾の妙前大塚古墳から出土した眉庇付甲〔長野県宝〕がみものです。

〈伊那谷の古代〉

- ・奈良・平安時代の紹介です。古代役所跡の座光寺恒川遺跡で出土した日本最古の貨幣「富弁銭」と「和銅開珎」銀銭（いずれも長野県宝）、円面硯などがあります。

〈伊那谷の中世〉

- ・飯田下伊那は小豪族が群雄割拠し、そこへ武田信玄が侵攻して30年間統治しました。さらに織田信長・徳川家康・豊臣秀吉の支配下となったのち、江戸時代を迎えます。「千代の板碑」〔飯田市有形文化財〕や輸入銭を納めて埋けた銭甕、長野県で最古の在銘の焼き物「尾林古窯の拍犬」〔飯田市有形文化財〕などがあります。

〈伊那谷の近世〉

- ・飯田に飯田藩がおかれ、藩主は小笠原・脇坂・堀氏へと変わりました。堀氏3代をまつる長姫神社の宝物である鎧甲や馬印などがあります。また、江戸時代前期の伊那郡を描いた「伊那郡絵図（正保の国絵図）」と「飯田城絵図」〔いずれも飯田市有形文化財〕の写真複製が掲示されています。

〈伊那谷の祭り・民俗芸能〉

- ・江戸時代後期の飯田お練り祭りは屋台を曳き回した祭りでした。「池田丸」の彫刻と幔幕、本町1丁目の本屋台の龍彫刻を展示しています。現存する本屋台関連の資料の一つです。明治5年からお練り祭りに登場した本町3丁目の大名行列〔飯田市無形民俗文化財〕の道具の一部をあわせて展示しています。
- ・獅子舞関係では、松尾鳩ヶ嶺八幡宮の獅子頭（室町時代初期）・鬼神面（南北朝～室町時代）・菩薩面（室町時代）〔いずれも飯田市有形文化財〕、東野の大獅子の巨大な獅子頭、下山獅子舞の獅子頭、それに人形芝居の古い首（かしら）を展示しています。



伊那谷の祭り・民俗芸能

◆学習方法

- ・学芸員が説明しながら展示室をまわります。
- ・人数が多い場合は、2班に分けて、人文と自然の常設展示室とに分かれて見学し、途中で交替するとよいと思います。さらに大人数の場合は、企画展示やプラネタリウムなどの見学と組み合わせる方法もあります。
- ・教科書などにあわせた必要な部分のみを対象として実物資料を見学したのち、講堂で学芸員・専門研究員から詳しい説明を聞くのも効果的です。

◆おすすめ

- ・伊那谷（飯田下伊那）の歴史文化について全体の流れを知る学習
- ・授業（単元）にあわせた学習

◆展示室レイアウト



● 柳田國男館

学習テーマ（学習指導要領との関係など）		対 象	観覧料
・ 柳田國男と民俗学について学ぶ		小・中学生	無 料
教 材	人 数	所用時間	担 当
	5～20人	15～30分	人文部門

◆ 展示テーマ

- ・ 日本民俗学の創始者 柳田國男（やなぎたくにお）や伊那谷の民俗について紹介しています。

◆ 学習内容

〈柳田國男と民俗学〉

- ・ 民俗学（日本民俗学）を創り上げました。この学問は、人々のくらしぶりや伝承文化などから日本人の歴史や特質を明らかにするものです。代表的な著作には、『遠野物語』『日本の祭』『海上の道』などがあります。

〈柳田國男と飯田〉

- ・ 柳田國男（1875～1962）は、日本の民俗学を創り上げた人です。兵庫県生まれの國男は、1903年（明治36年）に元飯田藩士であった柳田直平の三女孝と結婚し、柳田家の養子（正確には養嗣子）となりました。
- ・ 柳田國男は飯田に暮らすことはありませんでしたが、飯田を先祖の地として慕い、墓参りや講演、調査などのため7～8回訪れました。

〈柳田國男館〉

- ・ 1921年（大正10年）～23年にかけて、国際連盟の仕事でスイスのジュネーブに滞在した柳田國男が、帰国後1927年（昭和2年）に自分の書齋兼住居として、東京都世田谷区成城に建てた建物です。ときに國男は52歳、以後、著作の多くがこの建物で生まれました。大書齋の中央に据えられた応接セット（現在の家具は別）は、研究者など来訪者を迎えて懇談したり研究会が開かれました。そこで「民俗学の土俵」とも呼ばれました。

◆ 学習方法

- ・ 学芸員が説明しながら展示室をまわります。
- ・ 人数が多い場合は、班に分けて、隣接する日夏耿之介記念館や人文と自然の常設展示室などを順次見学します。また、企画展示やプラネタリウムなどの見学と組み合わせることもできます。

◆ おすすめ

- ・ 郷土ゆかりの偉人の学習
- ・ 普段の生活を見直すこと、志しの大切さを学ぶ学習



柳田國男館

● 日夏耿之介記念館

学習テーマ（学習指導要領との関係など）		対 象	観覧料
・ 日夏耿之介とその業績について学ぶ		小・中学生	無 料
教 材	人 数	所用時間	担 当
	5～20人	15～30分	人文部門

◆ 展示テーマ

- ・ 飯田市名誉市民第1号で、飯田に生まれた詩人・英文学者・翻訳家の日夏耿之介の業績を紹介するとともに、その人となりがかがえる遺愛の品々を展示しています。

◆ 学習内容

〈日夏耿之介の人と作品〉

- ・ 1890年（明治23年）に下伊那郡飯田町（現飯田市知久町）に生まれた日夏耿之介は、神経質で病弱に加え、学校嫌いであったと自ら語っていますが、読書や作文は幼い頃から好きだったようです。
- ・ 早稲田大学在学中から文芸誌の発行に携わり、1917年（大正6年）に詩集『転身の頌』でデビュー。その宝石のように彫琢された言葉がおりなす詩の世界は、孤高の詩人というイメージを世間に印象づけました。
- ・ 一方、ポオやワイルドなど英米詩人の作品の翻訳や文芸批評でも高く評価され、早稲田大学教授としても文学博士号を受けるなどし、『明治大正詩史』で読売文学賞（1949）、『日本現代詩体系』では毎日新聞社出版文化賞（1951）、『日夏耿之介全詩集』および『明治浪漫文学史』では日本芸術院賞（1952）を受賞しました。

〈文人としての日夏耿之介〉

- ・ 書の道具をはじめとする文房具や書画骨とう、貴重書の蒐集家としても知られ、その記念館に蔵されるそのコレクションはばう大です。また、自ら句集を出すなど俳句や短歌にも明るく、市内の各地に歌碑や句碑が建てられています。

〈日夏耿之介記念館〉

- ・ 記念館の建物は、日夏耿之介が夫人と二人で過ごした故郷飯田の自宅を復元したものです。1956年（昭和31年）に東京から故郷に帰ってきた日夏は、1971年（同46年）に81歳で亡くなるまで飯田で余生を送りました。館内では日夏の面影をしのぶ書画骨とうや書簡などをご覧いただけます。

◆ 学習方法

- ・ 学芸員が説明しながら館内をまわります。
- ・ 人数が多い場合は2班に分かれて、隣接する柳田國男館と合わせて見学してもよいでしょう。
- ・ 館の見学だけでなく、その前後に日夏の生いたちや足跡について学ぶこともできます。

◆ おすすめ

- ・ 郷土の偉人学習



日夏耿之介記念館

◆伊那谷に暮らした原始・古代の人々

学習テーマ（学習指導要領との関係など）		対 象	観覧料
・考古学から見た地域の歴史		小・中学生	減免あり
教 材	人 数	所用時間	担 当
	5～40人	15～30分	考古博物館

◆展示テーマ

伊那谷（飯田下伊那）の歴史（原始・古代）について紹介しています。

◆学習内容

〈エントランス〉

- ・縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代の代表的な出土品を展示しています。縄文時代のランプといわれる人面付釣手土器に注目してください。

〈シンボル展示〉

- ・飯田市北西の野底山から発見された埋もれ木は、年輪年代法によって紀元前317年から西暦93年まで成長したことがわかりました。弥生時代中期から後期にかけて成長したヒノキとして、当館のシンボルとなっています。

〈狩猟・採集社会の生活（旧石器・縄文時代）〉

- ・狩りや採集を中心に、移動して暮らしていた旧石器時代、定住してムラを作るようになる縄文時代を紹介しします。縄文時代の四季それぞれの食料について立体的に展示した縄文カレンダー、埋甕や土偶・石棒などから縄文人の精神文化を考えるコーナー、縄文土器の文様や形の移り変わりがわかる展示があります。

〈モノのうつりかわり〉

- ・くらしの道具を縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代、現代別に並べ目でその変遷がわかります。

〈農耕社会の発展（弥生時代）〉

- ・コメづくりや畑作によって暮らしていた弥生時代を紹介しします。この地方独自に発達した石器の使い方や子どもの棺桶である壺棺、収穫の季節を再現したジオラマ「段丘の秋」などの展示があります。

〈古代社会のくらし（古墳時代）〉

- ・飯田下伊那地方では、前方後円墳を始めとして数多くの古墳が造られています。古墳から出土した馬具や、はにわ、アクセサリーなどを展示しています。宮垣外遺跡から出土した「馬の骨」、雲彩寺古墳出土の「馬鈴・金環」などから、この地方における渡来人の活躍や馬の生産、ヤマト王権との結びつきをうかがい知ることができます。

〈古代社会のくらし（奈良・平安時代）〉

- ・奈良・平安時代の飯田下伊那を紹介しします。信濃国10郡のうち、「伊那郡」は現在の伊那市以南にありました。その役所「伊那郡衙」は飯田市座光寺の恒川遺跡群に置かれていました。郡衙を支える官人層の居館である堂垣外遺跡、須恵器を焼いた窯跡である宮洞3号窯跡からの出土品などの展示があります。

◆学習方法

- ・学芸員の説明を聞きながら展示を見学しします。その後、パワーポイントを使った学習も可能です。人数が多い場合は班に分けて、展示見学と学習を組み合わせるとよいと思います。最新の遺跡発掘調査の成果を取り入れてわかりやすく解説しします。さらに、本物の土器や石器にふれる機会をもうけます。勾玉づくりなどの体験学習を組み合わせることもできます。

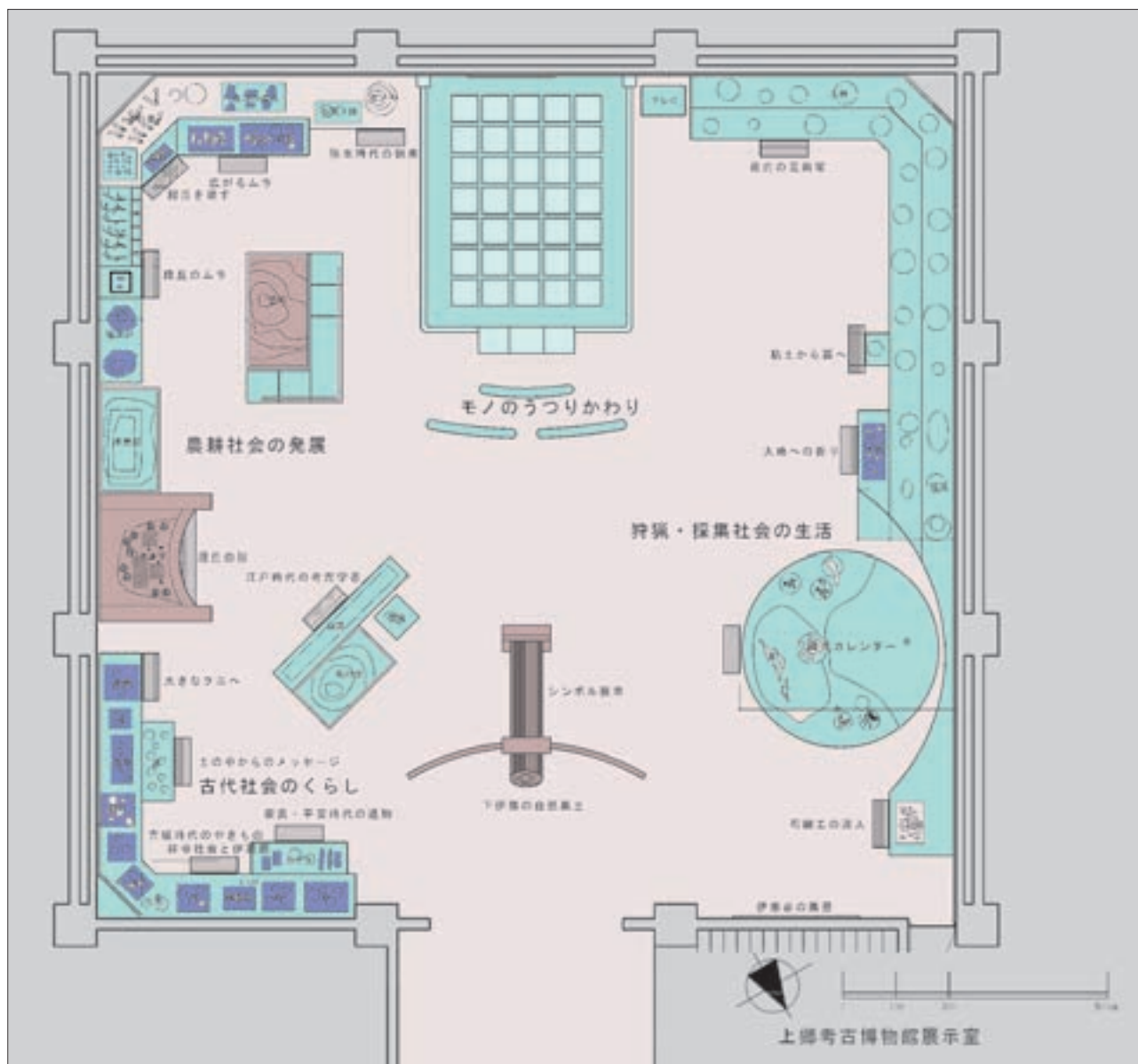


常設展示室

◆おすすめ

- ・飯田下伊那の歴史（原始・古代）についての学習
- ・学校区単位での地域の歴史についての学習

◆展示室レイアウト



秀水美人画美術館

- ・飯田市上郷出身の日本画家である浅井秀水の作品を展示公開する美術館です。考古博物館に隣接して建っています。
- ・日展での受賞作品をはじめ、所蔵する作品を、年4回の展示替えしてご覧いただきます。作品は、バレエ、日本舞踊、能や謡を題材として描かれたもののほか、仏画や現代女性など多彩に表現されています。

(所要時間15~30分)



浅井秀水「二人の舞妓」

◆追手町小学校化石標本室

学習テーマ（学習指導要領との関係など）		対 象	観覧料
・地球の歴史と化石について学ぶ		小・中学生	無 料
教 材	人 数	所用時間	担 当
	5～20人	15～30分	自然部門

◆概 要

- ・飯田市出身の古生物学者、長谷川善和先生の標本を中心に、たくさんの化石や骨を見たりさわったりして、化石への興味関心を高めることができます。また、絶滅した昔の生き物に触れながら、連綿とつづく生命のつながりや地球の長い歴史を学ぶことができます。

◆学習内容

〈脊椎動物とはー骨や歯のつくりー〉

- ・さまざまな動物の骨や歯を比べてみて、その働きなどを考えます。

〈化石ってなに〉

- ・昔の生き物がどのようにして化石になるのか。また、化石にはどのようなものがあり、化石からどんなことが分かるのかを考えてみます。

〈骨化石の発掘から復元〉

- ・骨化石を例にして、発掘・同定・レプリカづくり・復元までの化石研究の過程を紹介します。

〈飯田下伊那の化石〉

- ・飯田市川路で見つかった埋没林から2万年前の氷期の世界を想像したり、飯田市千代や阿南町富草の化石を観察し、1800万年前の飯田下伊那の陸と海の様子を考えたりします。

◆学習方法

- ・学芸員が説明しながら展示室をまわります。

◆おすすめ

- ・恐竜化石やアンモナイト・珪化木などにさわることができます。



標本室の内部

2. プラネタリウムをみる

◆概要

- ・当館のプラネタリウムは、平成23年春に、デジタル式プラネタムにリニューアルしました。高精細のプロジェクターから投影される、ハイビジョンの約2倍の精度の星空や映像を、魚眼レンズひとつでドームいっぱいに広げて映し出します。
- ・今までのプラネタリウムに比べると、よりダイナミックで多様な表現が可能になりました。また、柔軟な投影機能を生かして、宇宙や自然、文化について取り上げた臨場感あふれる映像作品を、見上げるドームいっぱいに投影することができます。
- ・全身を包み込むほどの広がりを感じさせるドーム映像には、未知のものへの好奇心を刺激し、身近な世界を別の見方でみる面白さを伝える力があります。ドーム映像の鑑賞は豊かな感受性をはぐくむ機会になります。



投影機：コニカミノルタプラネタリウム製スーパーメディアグローブⅡ

ドーム直径：12メートル

座席：90席（車椅子スペース5席）

◆学習内容

- ・コンピューターによる自動案内と、投影者の手動動作や生音声による解説を組み合わせて、様々な天文の話題を解説することができます。そのほか、投影できる番組には、一般番組と、当館オリジナル番組があります。

(1) 天文投影・解説

- ・星空や星座、月や太陽の動きなどを投影することができます。小学4年生「月と星」や、小学6年生の「月と太陽」の理解を深めるのに有効です。

〈その夜の星空〉

当日の夜など、いつでも見たい日の星空を自動で投影することができます（10～15分）。

星座の星の探し方や、星座にちなんだエピソードを知るとは星空と親しむきっかけになります。

※その夜の星空の自動投影以外で、星空や宇宙のシミュレーション投影を行う場合には準備が必要となります。投影内容について事前にお問い合わせください。

〈季節の星座〉

- ・どの季節の星空も自由に投影できます。見比べることで、季節によって見ることができる星座が違うことがわかります。
- ・さらに、宇宙の視点から太陽に対する地球の動きを見ることで、季節によって見える星座が違う理由を理解できます。

〈月の満ち欠け〉

- ・毎月の月の満ち欠けと月の見える位置、月が見える時刻の違いなどを投影できます。
- ・さらに、宇宙の視点から月のうごきを映すことで、月が満ち欠けする理由を理解できます。



〈太陽の動き〉

- ・日の出の方角、日の入りの方角、太陽の高さが季節によって変わることを再現できます。

〈太陽系の惑星〉

- 太陽系の惑星が、いつ、どの位置に見えるのか、再現することができます。太陽系の中で視点を自由に動かして、それぞれの惑星や衛星の様子を近くから見ることもできます。

〈星の配置と銀河の構造〉

- 星座の星のそれぞれが銀河系の中で立体的に分布している様子を、わかりやすくシミュレーションできます。銀河系の渦巻きが地球からは天の川として見えてくる理由や、太陽系が銀河の中にある位置などが理解できます。



銀河系

(2) 映像投影番組

- 投影番組には、一般番組と、当館オリジナル番組があります。投影可能な番組については、当館までお気軽にお問い合わせください。別刷りの番組表もご用意しています。

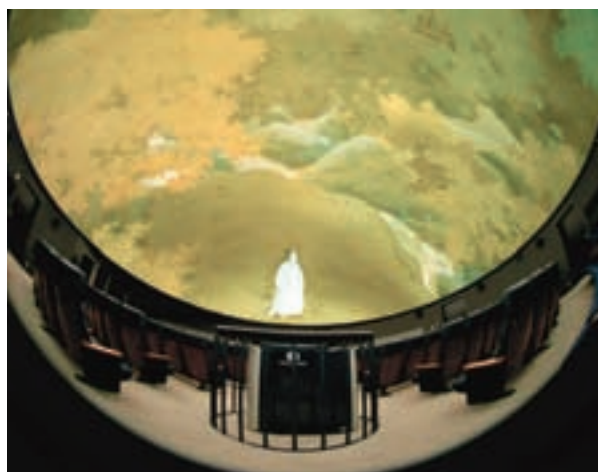
①一般番組

プラネタリウム向けに制作されたドーム映像番組を投影することができます。地球の歴史や進化の歴史を取り上げた番組から、宇宙の成り立ちや星のことを解説する番組、お話を通じて夜空や宇宙への好奇心をほぐくむ幼児向けの番組など、様々な映像番組をそろえています。

②当館オリジナル番組

当館では飯田下伊那の豊かな自然や文化について、その魅力を再発見できるオリジナル映像番組を制作しています。遠山霜月祭や人形浄瑠璃をテーマにしたもの、菱田春草の生涯と作品を取り上げたもの、遠山谷の御池山隕石クレーターや埋没林、鳥や蝶の生態を解説するものなどがあり、今後も新番組を制作していく予定です。

それぞれ5分から10分の短い番組です。



「菱田春草～永遠のときを超えて～」



「遠山霜月祭～太陽と命のよみがえり～」



「遠山川の埋没林」

2. プラネタリウムをみる

◆プラネタリウムでの学習 モデルプラン

- ・プラネタリウム室のなかで、プラネタリウム投影や一般番組、オリジナル番組を自由に組み合わせて投影することができます。

①一般番組を中心とした投影

学習テーマ（教育指導要領との関係など）		対 象	会 場	
天体の動きや星空・星座について学ぶ		小・中学生	美博	
時 間 帯	所用時間	人 数	観覧料	担 当
一年中 (予約投影時間)	45～60分	～90名	減免あり	プラネタリウム (自然部門)

◆学習内容

- ・楽しみながら宇宙や自然について知ることができる30分前後の一般番組と、10分程度のオリジナル番組から一本、その夜の星空の解説を組合わせて投影します。
- ・プラネタリウム投影で星空について学び、番組鑑賞を通じて自然や宇宙、地域に対する関心を高めます。

◆おすすめ

- ・【天文投影・解説】 + 【オリジナル番組】 + 【一般番組】
(10～20分) (1番組5～10分) (1番組20～40分)

②郷土と星空 ～当館オリジナル番組の投影～

学習テーマ（教育指導要領との関係など）		対 象	会 場	
・郷土の自然や文化を学ぶ		小・中学生	美博	
時 間 帯	所用時間	人 数	観覧料	担 当
一年中 (予約投影時間)	25～60分	～90名	減免あり	プラネタリウム (自然部門)

◆学習内容（オリジナル番組投影）

- ・菱田春草、遠山霜月祭、人形浄瑠璃など、飯田下伊那の文化を題材にしたオリジナル番組と、御池山隕石クレーター、遠山川の埋没林、鳥や蝶など、伊那谷の自然を題材にしたオリジナル番組の投影を通じて、地域について関心を広げ、理解を深めることができます。
- ・時間の範囲内で複数の番組を自由に組み合わせて投影することができます。

◆おすすめ

- ・「遠山霜月祭」「御池山隕石クレーター」を投影、季節の太陽の動きの話。その夜の星空、季節の星座の投影（小・中学生）。

Ⅲ. 学習－郷土伊那谷を知る－





来館学習・出前学習

■学芸スタッフ

美博や考古博には、作品や資料などの調査研究を行い、展覧会や講座などを開催する、「学芸員」と呼ばれる専門職員がいます。その他、同じように専門分野に長けた「専門研究員」がいます。

どちらも、館の講座はもちろん、公民館や学会などさまざまな機会に発表をしています。小・中学生にも調査研究で得られた写真や映像、情報や体験などを交えてお話しすることができます。

■来館学習

美博や考古博にて行う学習です。展示してある本物の作品や資料を見ながら、あるいは特別に作品や資料を出して見ながら、お話しすることができます。また、講堂などで大きなスクリーンにパワーポイントや映像を映したり、電子顕微鏡などの特殊な備品を利用したり、プラネタリウムと組み合わせるなどすることもできます。学校とはひと味違う学習になることでしょう。

■出前学習

美博や考古博から学芸員・専門研究員が学校や現地へ出向いて行う学習です。パワーポイントや映像を用意したり、ときには実物の作品や資料を持ってでかけることもできます。

■事前の打ち合わせ

来館学習も出前学習も、事前に先生方と授業内容についての話し合いができると、より効果が高まります。

■講師の紹介

美博や考古博の周りでは、市民や研究者が個人やグループをつくって、さまざまな研究や活動を行っています。館の学芸員や専門研究員だけでなく、授業内容に応じて、よりふさわしい講師を紹介することも可能です。

美術作品の鑑賞

◆菱田春草の作品とその魅力

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・ 絵画の鑑賞 ・ 文化の発展に大きな働きをした先人の業績	小・中学生	美博 学校
教 材		担 当
・ 「黒き猫」（複製） ・ プラネタリウム番組「菱田春草—永遠の時を超えて」（10分）（来館）		美術部門

◆学習内容

- ・ 菱田春草（1874～1911）は、国の重要文化財に指定される作品を4点も制作し、日本画の名品を多く残しました。「菊慈童」「拈華微笑」「王昭君」「賢首菩薩」「落葉」「黒き猫」など、春草の名品の魅力を探ります。

◆学習方法

- ・ パワーポイントを使って作品の細部などを見ながら、春草の名品を鑑賞します。
- ・ 「菊慈童」など春草の作品が展示されている場合は、実際の作品を見ながらの鑑賞もしていただけます。
- ・ 「黒き猫」は複製による出前学習も可能です。

◆おすすめ

- ・ コレクション展など展覧会の見学
- ・ 『菱田春草鑑賞ガイド』（美博刊）をあわせてご覧ください。



菱田春草「夕の森」〔飯田市有形文化財〕



菱田春草「菊慈童」〔長野県宝〕

美術作品の鑑賞

●何が描いてあるの？

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対象	会場
・ 絵画の鑑賞	小・中学生	美博 学校
教 材		担 当
・ 美術博物館の所蔵作品 ・ 各学校の所蔵作品		美術部門

◆学習内容

- ・ 美術博物館で所蔵している作品や展示中の作品について、何が描かれて、どういう意味がこめられているのか、発見していきます。
- ・ 画題についての物語や意味などをわかりやすく解説していきます。
- ・ 各学校に所蔵する作品を教材としてとりあげることも可能です。

◆学習方法

- ・ 展示室で鑑賞できる作品をテーマにします。さらにパワーポイントなどを利用してわかりやすく画題や作品の魅力をお伝えします。
- ・ 出前学習ではパワーポイントを利用します。

◆おすすめ

- ・ コレクション展など展示作品の鑑賞

佐竹蓬平「柘榴小舎図」



●すごい美術品のはなしー日本の美術

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対象	会場
・ 絵画の鑑賞 ・ 日本の美術	小学校高学年 中学生	美博 学校
教 材		担 当
・ 作品の写真映像		美術部門

◆学習内容

- ・ 国宝や重要文化財に指定されている皆さんがよく知っている美術作品について、作者のこと、作品のことなどを学びます。

[取り上げる作品]

狩野永徳「洛中洛外図屏風」、長谷川等伯「智積院障壁画」、俵屋宗達「風神雷神図」、尾形光琳「燕子花図屏風」「紅白梅図屏風」、横山大観「生々流転」など

◆学習方法

- ・ パワーポイントを利用して、絵の優れた内容を学びます。

◆おすすめ

- ・ 美術作品の楽しみ方

先人の業績

●飯田の生んだ日本画家 菱田春草

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
<ul style="list-style-type: none"> ・文化の発展に大きな働きをした先人の業績 ・絵画の鑑賞 	小・中学生	美博学校
教 材		担 当
<ul style="list-style-type: none"> ・美博コレクション展示など（来館） ・「黒き猫」の複製 		美術部門

◆学習内容

- ・菱田春草(1874~1911)の生涯を中心に、その作品について学びます。春草は飯田仲之町の出身。満36歳という短い生涯のなかで日本画の近代化運動に尽くしました。彼の描いた「落葉」や「黒き猫」は特に有名ですが、飯田市所蔵の「菊慈童」もまた、明治の日本画の流れを切り開いた作品として知られています。

◆学習方法

- ・パワーポイントを使って、菱田春草の生涯を追いつつ、代表作をスライドで紹介します。
- ・コレクション展等で春草作品を鑑賞することも可能です。

◆おすすめ

- ・コレクション展など展覧会における春草作品の見学
- ・プラネタリウム番組「菱田春草—永遠の時を超えて」（10分）の鑑賞



菱田春草

●日本の博物館の父 田中芳男

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
<ul style="list-style-type: none"> ・文化の発展に大きな働きをした先人の業績 	小学校高学年 中学生	美博学校
教 材		担 当
<ul style="list-style-type: none"> ・『郷土の偉人 田中芳男 日本の博物館の父』（田中芳男の胸像制作等を願う市民会議刊） ・芳男が作った図譜や標本の実物（来館） 		人文部門

◆学習内容

- ・飯田出身で、「日本の博物館の父」「動物園の父」「図書館の父」といわれる田中芳男（1838~1916）について学びます。
- ・芳男の生き方から「続けていくことの大切さ」を学びます。

◆学習方法

- ・パワーポイントを使って、田中芳男の業績を学習します。
- ・芳男が制作した図譜など実物を見ることも可能です（来館）。
- ・芳男が得意とした「物を集める」「形を写しとる」などの体験を組み合わせることが出来ます。

◆おすすめ

- ・小学校修学旅行（東京上野見学）の事前学習



田中芳男

城下町飯田の今昔

●飯田城と城下町

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・地域社会の特色	小・中学生	美博 学校
教 材		担 当
<ul style="list-style-type: none"> 『飯田城ガイドブック』（美博刊、市立図書館に貸出用が1クラスあります） 飯田城絵図の実物（来館） 		人文部門

◆学習内容

- ・飯田は飯田城を中心に栄えた城下町でした。どんな城と城下町だったのか、江戸時代の絵図を見ながら、現在と比較してお話しします。
- ・飯田の繁栄の証であったお練り祭りや、飯田ゆかりの人物（飯田城主堀侯・太宰春台・菱田春草など）についても学習します。

◆学習方法

- ・パワーポイントを使って、写真や図を見ながら学習します。

◆おすすめ

- ・常設展示の見学や、飯田城址の見学と組み合わせた学習



飯田城外廓開墾之図（1872年）

●飯田のマチと飯田大火

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の特色 ・災害と防災 	小・中学生	美博 学校
教 材		担 当
<ul style="list-style-type: none"> ・大火のDVD「実録飯田大火」（15分、NHK長野放送局） ・復興のDVD「復興飯田市」（12分、飯田市） 		人文部門

◆学習内容

- ・昭和22年の高校の教科書に「典型的な城下町」として紹介された飯田は、この年の4月20日の大火で市街地の約8割を焼失しました。大火以前の飯田がどんな町だったのか、火災による被害について学びます。
- ・大火後の復興により、飯田の街は防火都市として生まれ変わりました。どんな復興がなされたのか、今後大火が起きないようにと町づくりに尽力した人びとの姿を探ります。
- ・大火と復興により、失ったものと、新しく得たものについて考えます。

◆学習方法

- ・パワーポイントとDVDを使った学習となります。

◆おすすめ

- ・美博であれば、大型スクリーンに投影した迫力ある映像をご覧くださいいただけます。



飯田大火

伝えたい伝統行事・伝統芸能

●伊那谷の祭り・民俗芸能

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・ 伝統と文化の尊重 ・ 受け継いできた文化財 ・ 民俗学の成果の活用	小学校高学年 中学生	美博 学校
教 材		担 当
・ DVD「遠山霜月祭り」「獅子舞」「人形芝居」「花火」など ・ プラネタリウム「遠山霜月祭」「人形劇の街 飯田」（来館）		人文部門

◆学習内容

- ・ 伊那谷（飯田下伊那）は、「民俗芸能の宝庫」とよばれるほどに、多種多様な祭り・民俗芸能が伝承されています。どこに、どんな祭りがあるのか、個々の祭りはどんな特徴をもっているのか、人びとは何を願って祭りを続けてきたのか、などについて学習します。
- ・ 祭りや民俗芸能を通して見た伊那谷の特徴についても学習します。
- ・ 学校区にある祭りを中心に、学習することも可能です。



座光寺麻績神社獅子舞

◆学習方法

- ・ パワーポイントを使って、祭り・民俗芸能について学習します。
- ・ 遠山霜月祭りや獅子舞、人形芝居、花火などは、DVDの映像と組み合わせて学習することもできます。

◆おすすめ

- ・ 常設展示の見学
- ・ プラネタリウム番組「遠山霜月祭」「人形劇のまち 飯田」の観覧（各10分）



黒田人形



飯田のお練り祭り(1915年)

<参考> 飯田下伊那の主な祭り・民俗芸能

種 類	伝承される祭り・民俗芸能
霜 月 神 楽	遠山の霜月祭（国指定）・天龍村の霜月神楽（国指定）・新野の神楽
お こ な い	新野の雪祭り（国指定）
盆 踊 り	新野の盆踊り（国選択）・天龍村の盆踊り
か け 踊 り	下伊那のかけ踊り（国選択／和合の念仏踊り）・天龍村坂部・向方・大河内のかけ踊り・泰阜の樽木踊り・下栗のかけ踊り）
人 形 芝 居	伊那の人形芝居（国選択／黒田人形・今田人形・早稲田人形）
歌 舞 伎	大鹿歌舞伎（県指定）・下條歌舞伎・平谷歌舞伎
獅 子 舞	大島山の獅子舞（県選択）・麻績神社獅子舞・東野の大獅子 ほか
花 火	清内路の手造り花火（国選択）・山本の裸祭り ほか
お練り祭り	飯田のお練り祭り
御 柱 祭	伊那谷各地の御柱祭
そ の 他	大河内の鹿追い行事（国選択）・伊那谷のコト八日行事（国選択）・深見の祇園祭（県選択）

伝えたい伝統行事・伝統芸能

●伊那谷の年中行事

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・ 伝統と文化の尊重 ・ 受け継いできた文化財 ・ 民俗学の成果の活用	小学校高学年 中学生	美博 学校
教 材		担 当
・ DVDなど		人文部門

◆学習内容

- ・ 正月や小正月、お盆をはじめ、季節季節に行われる年中行事について、伊那谷に伝えられる行事の内容や、その行事に人びとは何を祈ってきたのか、などについて学習します。
- ・ 学校区にある祭りを中心に、学習することも可能です。

◆学習方法

- ・ パワーポイントを使って、年中行事について学習します。
- ・ 遠山霜月祭りや獅子舞、人形芝居、花火など祭り・民俗芸能の学習、あるいは柳田國男の学習と組み合わせることもできます。

◆おすすめ

- ・ 地域の民俗芸能に参加している児童・生徒の体験談発表や実演と組み合わせた学習。



小正月飾り（飯田市下久堅）

●日本の伝統芸能

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・ 古典の世界にふれる	小学校高学年 中学生	美博 学校
教 材		担 当
・ プリントを用意します		人文部門

◆学習内容

- ・ 日本の古典の伝統芸能には能・狂言・文楽・歌舞伎・日本舞踊などがあります。これら作品の文章や歌詞に親しむことで、古典芸能の世界の楽しさに触れます。
- ・ それぞれの伝統芸能の歴史や作品の内容、そして基本的な見方を学びます。

◆学習方法

- ・ こちらで事前に用意した資料（プリント）を音読し、古典の言葉遣いやリズムを味わいます。それから、取り上げた作品を解説します。
- ・ テーマをひとつに絞って（例：能について）、パワーポイントで、写真や図を見せながらの学習となります。

◆おすすめ

- ・ 芸術鑑賞会の事前学習であれば、鑑賞予定の作品の解説もできます。
- ・ 伝統芸能を学ぶことは、伊那谷に残っている人形浄瑠璃や地歌舞伎への理解や興味にもつながることでしょう。



発掘された飯田下伊那の歴史

●縄文時代のむらの暮らし

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
<ul style="list-style-type: none"> ・土器の登場と定住化 ・考古学の成果の活用 	小学校高学年 中学生	美博・考古博 学校
教 材		担 当
<ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代の土器や石器の実物資料 ・縄文時代の遺跡や出土品などの写真 		考古博物館

◆学習内容

- ・約1万2千年前に登場した土器は、人々の食生活に劇的な変化を与え、やがて定住化へと結びつきます。このテーマでは縄文時代の暮らしについて飯田下伊那の資料を用いて学習します。

◆学習方法

- ・パワーポイントを使用して、発掘調査や遺跡、遺構、出土品からわかったことを解説します。
- ・考古博会場であれば、展示見学とともに本物の土器や石器にふれることが可能です。



釣手土器(上郷・黒田垣外遺跡)

◆おすすめ

- ・土器づくりの事前学習

●米づくりが始まったころ

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
<ul style="list-style-type: none"> ・下伊那の弥生時代の特徴 ・考古学の成果の活用 	小学校高学年 中学生	美博・考古博 学校
教 材		担 当
<ul style="list-style-type: none"> ・弥生時代の土器（粃の痕跡が残った物など）・石器 ・遺跡や出土品などの写真 		考古博物館

◆学習内容

- ・弥生時代は水田による米づくりが始まった時代です。飯田下伊那では水田だけでなく、雑穀などの畑作も盛んに行われていました。このテーマでは、遺跡の立地や土器・石器から弥生時代の暮らしについて学びます。

◆学習方法

- ・パワーポイントを使った学習となります。
- ・来館では、展示見学と組み合わせて効果的に学習することができます。
- ・季節によっては石器（復元品）を実際に使って草刈りなどを体験することができます。



有肩扇状型石器（伊賀良・殿原遺跡）

◆おすすめ

- ・郷土の歴史と文化の学習
- ・米づくりの学習

発掘された飯田下伊那の歴史

●下伊那の古墳と渡来人

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
<ul style="list-style-type: none"> ・下伊那の古墳時代と渡来人の活躍 ・考古学の成果の活用 	小学校高学年 中学生	美博・考古博 学校・現地
教 材		担 当
<ul style="list-style-type: none"> ・古墳時代の出土品（馬具・アクセサリ・埴輪など） ・遺跡、出土品、出土品などの写真 		考古博物館

◆学習内容

- ・飯田下伊那には700基あまりの古墳があります。古墳の副葬品には馬具が多く、また埋葬された馬の骨も見つかっています。こうしたことから大和朝廷が、伊那谷に馬とその飼育技術を持った渡来人を送り、全国的にも有数の馬の生産地となったと考えられています。この学習では、それぞれの地区の古墳時代の特徴を学習します。



馬の墓から出土した馬具
(座光寺・新井原4号土墳)

◆学習方法

- ・パワーポイントを使った学習となります。他地区の古墳文化と比較した映像を見ながら、学習します。
- ・来館であれば、古墳時代のアクセサリ（勾玉、ガラス玉）を作る体験も組み合わせることができます。

◆おすすめ

- ・郷土の歴史と文化の学習
- ・現地の古墳見学を行うと効果的です。

●伊那谷の奈良時代

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
<ul style="list-style-type: none"> ・下伊那の古代の役所と国づくり ・考古学の成果の活用 	小学校高学年 中学生	美博・考古博 学校
教 材		担 当
<ul style="list-style-type: none"> ・墨書土器、円面硯など ・遺跡や出土品などの写真 ・奈良時代の硯（復元）、筆、木簡（復元） 		考古博物館

◆学習内容

- ・奈良・平安時代は法律によって全国を治めるようになった時代です。全国は国一郡一里に分けられ、国や郡には役所（国衙・郡衙）が設けられました。飯田市座光寺の恒川遺跡群にあった「伊那郡衙」の役割を中心にして、奈良・平安時代の暮らしについて学びます。

◆学習方法

- ・パワーポイントを使った学習となります。
- ・復元した硯と筆で木簡を書くなど、体験型の講座も可能です。

◆おすすめ

- ・郷土の歴史と文化の学習
- ・文字が使われ始めた時代の学習



伊那評木簡（藤原京出土）

伊那谷のなりたち

●伊那谷の大地

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・地域の特色ある地形 ・土地のつくりと変化 ・流水の働き ・自然災害と防災 ・化石	小学校高学年 中学生	美博・学校 現地
教 材		担 当
・地図 写真 ・常設展示（来館）		自然部門

◆学習内容

- ・大地にも歴史があり、長い時間かけてその土地の景観ができあがったことを理解出来るようにします。
- ・中央構造線、扇状地、河岸段丘の特色ある地形について学びます。

◆学習方法

- ・パワーポイントの写真、地図を見ながら学習します。
- ・常設展示（自然）を見学して、さらに理解を深めます。
- ・現地見学（千代米川峠など）



遠山川の埋没林

◆おすすめ

- ・プラネタリウムオリジナル番組「遠山川の埋没林」（10分）をあわせてご覧ください。
- ・『遠山川の埋没林ー古代の地変を未来の警鐘にー』（美博刊）をあわせてご覧ください。

●御池山隕石クレーター

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・地域の特色ある地形	小学校高学年 中学生	美博・学校 現地
教 材		担 当
・隕石（本物） ・絵 ・写真 ・顕微鏡写真 ・岩石標本		自然部門

◆学習内容

- ・上村らびそ高原には、2～3万年前、宇宙から隕石が降ってきて御池山の斜面に衝突した隕石クレーターがあります。直径900mで、半円形しか残っていませんが、どうして隕石クレーターであることがわかったのか、衝突によって変形した鉱物をもとに考えます。

◆学習方法

- ・教材を示し、話し合いで隕石クレーターであることを立証します。
- ・現地見学も可能です。



御池山クレーター空撮

◆おすすめ

- ・プラネタリウム オリジナル番組「御池山隕石クレーター」（9分）をあわせてご覧ください。
- ・『御池山クレーターって何だろう？』（美博刊）をご覧ください。

伊那谷のなりたち

●根羽に火山があった！

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・地域の特色ある地形	小・中学生	美博・学校 現地
教 材		担 当
・サメの歯化石 ・岩石標本 ・絵 ・写真 ・図		自然部門

◆学習内容

- ・伊那谷に火山といわれる場所があることはあまり知られていません。ところが、根羽村におよそ1500万年前に噴火した火山があったことがわかりました。マグマが噴火する時にしかできない鉱物を示し、伊那谷に火山があったことを理解します。

◆学習方法

- ・化石・岩石標本やパワーポイントの写真や絵、図を見ながら学習し、話し合いながら火山のあったことを理解します。

◆おすすめ

- ・常設展示（自然）の火山の様子をご覧ください。



根羽火山跡

自然観察

●地形や地質を観察する

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
<ul style="list-style-type: none"> ・伊那谷の成り立ちを学ぶ ・大地の歴史を学ぶ 	小・中学生	野外
教 材		担 当
<ul style="list-style-type: none"> ・地図など 		自然部門

◆学習内容

・私たちの暮らす伊那谷には、川や山、平地や谷があります。これらは大地を作る岩石や、地震を引き起こす活断層などの活動で作られてきました。その痕跡を地形や石から学びます。場所によって観察ポイントが異なりますので、内容は事前にご相談ください。

◆学習方法

・野外で地形を観察して成り立ちを学んだり、河原などで石を集めて違いを観察したりします。

◆おすすめポイント

・天竜川の河原、天龍峡、遠山川の埋没林、念通寺断層、根羽火山、中央構造線など



中央構造線の露頭（飯田市南信濃）

●化石の観察会

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
<ul style="list-style-type: none"> ・過去の伊那谷の環境を知る ・理科の学習 	小・中学生	野外
教 材		担 当
<ul style="list-style-type: none"> ・地図など 		自然部門

◆学習内容

・伊那谷にはかつて海がありました。その頃の名残が、貝などの海に暮らす生き物の化石からわかります。現地で化石を見つけてその事実に触れてみます。

◆学習方法

・野外で露頭を観察し、化石や地層を調べます。

◆おすすめポイント

・千代米川の化石、久米の植物化石、阿南町富草の化石など



化石採集（飯田市千代）

自然観察

●身近な自然の観察会

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対象	会場
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然を知る・親しむ ・動植物のくらしを学ぶ 	小・中学生	野外
教材		担当
<ul style="list-style-type: none"> ・各種の図鑑 		自然部門

◆学習内容

- ・動物、鳥、昆虫、草花などについて、野外を散策しながら観察します。担当者によって得意分野が異なりますので、観察会の内容は事前にご相談ください。

◆学習方法

- ・子どもたち自身による「発見」をキーワードに、これまで気がつかなかった生き物たちの面白い暮らしや、私たちと生き物たちとのつながりを学びます。学校の周囲や学友林などを利用できます。また遠足などで訪れた公園などでも実施できます。

◆おすすめ

- ・『伊那谷の身近な生き物たち』（美博刊）、『伊那谷の里山観察ガイド』（美博刊）などをご利用ください。



探鳥会

●田んぼの生き物観察会

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対象	会場
<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の稲作りの付加的学習 	小・中学生	学校田 周囲の水田
教材		担当
<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼより採集 		自然部門

◆学習内容

- ・田んぼではお米も育ちますが、カエルやトンボも育ちます。稲作農業が育ててきた「自然」について学びます。5年生の米作り体験とセットにした学習が効果的です。

◆学習方法

- ・網を使って田んぼの生き物を捕まえ、その暮らしや米作りとの関係についてお話しします。学校田や学校近くの田んぼ（所有者の許可が必要）で観察します。

◆おすすめ

- ・『百姓仕事がつくるフィールドガイド 田んぼの生き物』（美博編）をご利用ください。



©Chika Takagi

生き物たちの暮らし

●里山や田んぼの自然のお話し

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・自然と人間の暮らしについての学習 ・生活・理科の学習	小・中学生	美博・学校など
教 材		担 当
・実物資料、写真など		自然部門

◆学習内容

・里山の自然はどのようにしてできてきたか、また人々はそこに暮らす動物、鳥、昆虫、木々とどのようにつき合ってきたかについてお話しします。具体的な内容についてはご相談ください。

◆学習方法

・子どもたちの学年に応じて、写真紙芝居を使ったり、実物資料を使ったりしながら、わかりやすくお話しします。学校周囲などでの観察会とセットにすることもできます。

◆お話しテーマの例

- ・「里山の生き物とヒトの暮らし」
- ・「季節を告げるカエルや赤トンボは稲作農業が作り出す」
- ・「クワガタムシはなぜ雑木林が好きなのか」
- ・「希少植物たちはなぜ里山に生えているのか」 など



©Chika Takagi



©Chika Takagi

●高山の自然のお話し

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・長野県のシンボルである高山の自然を知る ・学校登山の事前学習	小学校高学年 中学生	美博・学校など
教 材		担 当
・写真など		自然部門

◆学習内容

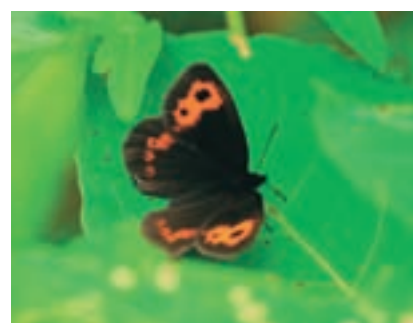
・毎日眺めるアルプスの山々、そこには身の回りとは全く異なる自然があります。氷河時代にできた険しい地形や、そこに暮らす高山植物や高山チョウなどの氷河時代の生き残りの生き物について、自然保護や温暖化の話なども交えながら紹介します。

◆学習方法

・スライドを使って、わかりやすく話します。

◆お話しテーマの例

- ・「南アルプスの高山植物」
- ・「高山チョウと高山蛾」
- ・「氷河地形の成り立ち」 など



高山蝶ベニヒカゲ

生き物たちのくらし

●昆虫のお話し

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・身近な自然に親しむ ・生活・理科の学習	小学校高学年 中学生	美博 学校・現地
教 材		担 当
・実物標本、写真など		自然部門

◆学習内容

・チョウやクワガタ、セミなどの人気の昆虫、はたまたゴキブリ、毛虫などの嫌われ者の昆虫、虫たちは好かれ嫌われ、でもたくさんのムシが身の回りに暮らしています。変化に富んだ昆虫たちの姿や暮らしぶりを紹介します。

◆学習方法

・子どもたちの学年に応じて、わかりやすくお話しします。学校周囲などでの観察会とセットにすることもできます。

◆お話しのテーマの例

- ・写真絵本「はらぺこあおむし実写版」の読み聞かせ
- ・「忍法木の葉がくれ！ ー昆虫たちのギタイ術ー」
- ・「セミは何年生きるのか？」
- ・「チョウとガはどこがちがうの？」
- ・「冬の虫たち」など



©Chika Takagi

●植物のお話し

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・身近な自然に親しむ ・生活・理科の学習	小学校高学年 中学生	美博・学校
教 材		担 当
・植物標本、写真など		自然部門

◆学習内容

・身近な植物について、その特徴や暮らしぶりを紹介します。絶滅危惧種やその保全も問題についてもお話しします。

◆学習方法

・子どもたちの学年に応じて、わかりやすくお話しします。学校周囲などでの観察会とセットにすることもできます。

◆お話しのテーマの例

- ・「身近な樹木花10種を調べて覚えよう」
- ・「はなのき花札」を使って、ゲーム感覚で植物に親しむ など



はなのき花札

生き物たちの暮らし

●動物や鳥のお話し

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・身近な自然に親しむ ・生活・理科の学習	小・中学生	美博 学校
教 材		担 当
・実物標本、写真など		自然部門

◆学習内容

- ・身近な野生動物や野鳥が、どのように暮らしているのか、また、外来種などの出現などにより、どのように変化してきたのかなどについて、わかりやすくお話しします。

◆学習方法

- ・実物標本や写真などを見ながら学びます。

◆お話しテーマの例

- ・「伊那谷の野鳥 ～過去と現在の変化～」
- ・「野生動物のフィールドサインを見つけよう！」 など



©Chika Takagi

自然災害と防災

●地震と活断層

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色ある地形 ・自然災害と防災 	小学校高学年 中学生	美博 学校・現地
教 材		担 当
<ul style="list-style-type: none"> ・地図 ・写真 ・常設展示（来館） 		自然部門

◆学習内容

- ・プレート間の巨大地震や活断層が引き起こす地震など、地震の起こる仕組みや伊那谷の活断層について学習します。

◆学習方法

- ・パワーポイントの写真、地図を見ながら学習します。
- ・常設展示（自然）を見てさらに理解を深めます。

◆おすすめ

- ・常設展示（自然）の見学



念通寺断層（飯田市駄科）

●伊那谷を襲った三六災害

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色ある地形 ・自然災害と防災 	小学校高学年 中学生	美博 学校
教 材		担 当
<ul style="list-style-type: none"> ・地図 ・写真 ・DVD 		自然部門 人文部門

◆学習内容

- ・昭和36年に伊那谷に大被害をもたらした「三六災害」について学びます。

◆学習方法

- ・パワーポイントの写真、地図を見ながら学習します。
- ・当時の被害状況を記録した映像のDVDを見て、さらに理解を深めます。

◆おすすめ

- ・美博であれば、大型スクリーンに投影した迫力ある映像をご覧ください。



上飯田 今宮球場付近の被害

修学旅行の事前学習

●東京上野と田中芳男

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・文化の発展に大きな働きをした先人の業績	小学校5・6年生	美博 学校
教 材		担 当
・（修学旅行のテキスト） ・『郷土の偉人 田中芳男 日本の博物館の父』（美博刊）		人文部門

◆学習内容

- ・東京上野の国立科学博物館、東京国立博物館、上野動物園、上野公園の建設に深く関わったのが、飯田出身の田中芳男（1838～1916）です。そのため、「日本の博物館の父」「動物園の父」「図書館の父」と呼ばれています。この学習では、小学校の修学旅行の事前学習として、田中芳男の業績を学びます。



国立科学博物館

◆学習方法

- ・パワーポイントを使って、特に上野の博物館・動物園との関わりについて学習します。

◆おすすめ

- ・小学校修学旅行（東京上野見学）の事前学習
- ・国立科学博物館には、飯田の市民の皆さんが贈った田中芳男の銅像があります。事前に申し込んでおけば修学旅行で対面できます。

●京都・奈良の仏像の見方

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・受け継いできた文化財	中学校2・3年生	美博 学校
教 材		担 当
・（修学旅行のテキスト）		人文部門

◆学習内容

- ・修学旅行で京都・奈良に行くと、かならずどこかのお寺で目にする仏像。実際に仏像を前にしたとき、どこをどう見たらいいのか、仏像の基本的な見方について学びます。
- ・あらかじめ知っておくと、より理解が深まります。

◆学習方法

- ・パワーポイントで、写真や図を見ながらの学習となります。クイズやゲームを交えたワークショップ形式にすることも可能です。

◆おすすめ

- ・修学旅行の事前学習



出前による事前学習の様子

修学旅行の事前学習

●発掘調査から見た奈良の都と飯田下伊那

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
<ul style="list-style-type: none">・身近な地域の歴史を調べる・都と地方の比較から奈良時代を大観する・考古学の成果の活用	中学校2・3年生	美博・考古博 学校
教 材		担 当
<ul style="list-style-type: none">・奈良平安時代の遺物（富本銭、和同開珎、円面硯、墨書土器など）・（修学旅行のテキスト） ・役人や女官の衣装		考古博物館

◆学習内容

- ・飯田市座光寺の恒川遺跡群は古代の役所「伊那郡衙」が置かれた場所です。出土した出土品や遺構からわかる伊那谷の奈良・平安時代を学びます。あわせて、平城宮跡から出土した木簡や文字資料を通して、都の歴史を概観します。修学旅行で訪れる、奈良や京都が身近に感じられます。
- ・旅行コースに飛鳥地方を含む場合は古墳の学習を加えるなどの工夫ができます。

◆学習方法

- ・パワーポイントを使って、写真や図を見ながらの学習となります。
- ・来館（考古博）であれば、役人の衣装を着用したり、復元した硯を使用するなどの体験も可能です。

◆おすすめ

- ・修学旅行の事前学習やコースの選択



飯田市出土 富本銭

IV. 体験学習－実際に体験する



体験学習—実際に体験する

美博・考古博では、ただ見る・聴くだけでなく、実際につくったり、したり、出かけたり、する体験学習のメニューを用意しています。平成24年4月現在に用意しているメニューは、つぎのとおりです。

これ以外にも、希望すること、あるいは工夫を加えて実施したいことなどがありましたら、ご相談ください。

■つくる

美術博物館

- ・石に絵をかいて変身
- ・見たこと感じたことを楽しく描こう
- ・化石のレプリカ
- ・隕石のレプリカ

考古博物館

- ・勾玉 ・縄文土器 ・縄文文様の小物
- ・古代のクラフト“織りと編み”
- ・古代のお金 ・とんぼ玉

■できる

美術博物館

- ・電子顕微鏡でみる

考古博物館

- ・原始・古代を体験する

■まわる

美術博物館

- ・飯田城たんけん
- ・美博バックヤードツアー

考古博物館

- ・考古博 遺跡めぐり

●石に絵をかいて変身

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・材料などから豊かな発想をし、つくりだす喜びを味わうようにする	小学校1～4年生	美博
教 材	担 当	
・河原の石（子どものこぶし大）、クレヨン、15色フェルトペン（中太）、パス、動く目玉	美術部門	

◆学習内容

- ・思い思いのイメージのわく石を選び、その石を動物や昆虫やいろいろな物に見立てて色で描いていきます。
- ・石ころが、生き生きとした生きものに変身する楽しさを味わいます。

◆学習方法

- ・石を、様々な方向から見て何かに見立てます。
- ・石に動く目を貼り付けて、色で描いていきます。
- ・完成した作品を友だちと見合い、発想の面白さを伝え合います。



◆おすすめ

- ・美術博物館へ見学に来たときなどに、短時間でできます。

●見たこと感じたことを楽しく描こう

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・進んで表現したり鑑賞したりする態度を育て、つくりだす喜びを味わうようにする	小学生	美博
教 材	経費など	担 当
・水彩絵の具セット、線描材（クレヨン、パス、割箸ペン、毛筆細筆、墨汁など）	画用紙代	美術部門

◆学習内容

- ・絵に表したいことをいろいろな方法で楽しく思い浮かべる。
- ・表したい気持ちを多様な方法で描く。
- ・パレットの使い方、混色の仕方、筆の使い方。
- ・絵を描く楽しさや表現のよさを、描いた絵や参考作品を鑑賞して気づけるようにします。

◆学習方法

- ・楽しく絵を描くためのイメージのふくらませ方。
 - ・輝きのある色彩で描くための混色や筆のタッチの生かし方。
- ※絵を描くことが苦手だと感じている人も、楽しくのびのびと描き、自信をもってもらえるようにします。

◆おすすめ

- ・絵画指導の導入として活用を。

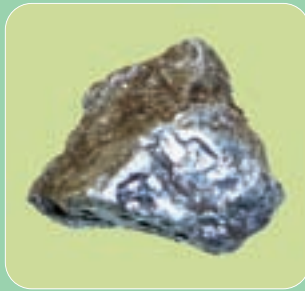


●美術博物館

隕石のレプリカ

本物そっくりの隕石の模型を作ります。

対象：小・中
定員：15名×2回
時間：1～2時間
場所：美博
材料費：200円



化石のレプリカ

三葉虫やアンモナイトなど本物そっくりの模型を作ります。

対象：小・中
定員：15名×2回
時間：1～2時間
場所：美博
材料費：200円



●考古博物館

勾玉

古代のアクセサリー勾玉を石を磨いて作ります。

対象：幼・小・中
定員：60名
時間：1～1.5時間
場所：考古博・美博
学校
材料費：100円



縄文土器

遺跡から出土した土器をモデルに製作し、乾燥させ秋に野焼きします。

対象：小（高）・中
定員：30名
時間：3時間×2回
場所：学校
材料費：（材料は学校が準備）



縄文模様の小物

粘土で好きな形を作り、縄文模様で飾ります。

対象：幼・小（低）
定員：30名
時間：1時間
場所：考古博・美博
学校
材料費：100円



古代のクラフト“織りや編み”

「網代編み」の技法でマットや籠を作ります。

対象：小・中
定員：20名
時間：1～2時間
場所：考古博・美博
学校
材料費：100円～



古代のお金のレプリカ

古代と同じように鋳型と金属を使って作ります。

対象：小・中
定員：30名
時間：1～1.5時間
場所：考古博・美博
材料費：200円



とんぼ玉

ガラス棒を溶かし、鉄芯に巻き付けて作ります。

対象：小（高）・中
定員：10～24名
時間：1.5～2時間
場所：考古博
材料費：300円



●考古博物館

古代の生活を体験する。体験は無料です。拓本以外は、貸出もできます。
見学と組み合わせてご利用ください。会場は上郷考古博物館です。



古代人になろう

弥生時代・古墳時代・奈良時代の
衣装（製作品）を着用。

石器で 切ってみよう

石器で草を刈ったり
野菜などを切っ
てみる。



土器の拓本

本物の土器をつか
って拓本をとります。



木簡を書く

円面硯や墨・筆をつか
って木簡に書く。

火おこし体験

火おこし器をつか
って、
古代の火おこしに挑
戦します。



●電子顕微鏡で見る

学習テーマ（教育指導要領との関係など）		対 象	会 場	
・顕微鏡で観察する		小・中学生	美博	
教 材	所用時間	経費など	人 数	担 当
・当館で用意できる試料	20～60分	無料	5～30名	自然部門

◆学習内容

- ・電子顕微鏡を使うと、小さなものを数千倍～1万倍に拡大して見ることができます。昆虫の複眼やプランクトンの殻など、美しい微の世界を見ることができます。

◆学習方法

- ・美博の科学工作室に設置してある走査型電子顕微鏡を利用して、微の世界を学習します。当館の試料をつかって観察することもできますし、試料を持参して観察することもできます。また操作を覚えれば、自ら電子顕微鏡を操作して観察することもできます。

◆おすすめ

- ・昆虫の体のつくり
- ・南アルプスから見つかる小さな化石



電子顕微鏡で見た昆虫の顔

ま わ る

●飯田城たんけん

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的分野と地理的分野との連携 ・ 文化財と身近な地域の歴史 	小・中学生	美博・周辺
教 材	担 当	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 『飯田城ガイドブック』（飯田市中央図書館に1クラス分が用意してあります） ・ 「飯田城・城下町旧跡・散策マップ」や「飯田城たんけん」（プリント）も配布できます。 	人文部門	

◆学習内容

- ・ 美術博物館の周辺一飯田城二の丸・本丸・山伏丸、出丸・桜丸・三の丸の跡地をまわります。

◆学習方法

- ・ 美術博物館を起点として、本丸・山伏丸方面へ行くコース（1）と、出丸・桜丸方面へ行くコース（2）、両方をあわせたコース（3）が可能です。時間に応じてお選びください。
- ・ それ以外にも、城下町を中心にまわるコースなども可能です。

◆おすすめ

- ・ 美術博物館の常設展示の見学をあわせたり、さらに講堂でポイントによる学習を組み合わせるとより理解が深まります。



水の手御門跡

城内モデルコース(3)

- ① 美術博物館・二の丸跡
- ↓
- ② 山伏丸跡
- ↓
- ③ 本丸跡
- ↓
- ④ 二の丸跡
- ↓
- ⑤ 水の手御門跡
- ↓
- ⑥ 土橋跡
- ↓
- ⑦ 櫻丸跡・出丸跡
- ↓
- ⑧ 桜丸跡
- ↓
- ⑨ 御亭堀跡
- ↓
- ⑩ 美術博物館

オプション A

- ア 空堀跡
- イ 水の手番所跡
- ウ 水の手坂

オプション B

- a 谷川跡
- b 御成道・北口御門跡
- c 不明門跡・北堀跡
- d 追手町御門跡・南堀跡

●考古博 遺跡めぐり

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・ 歴史的分野と地理的分野との連携 ・ 文化財 ・ 身近な地域の歴史	小・中学生	現地
教 材		担 当
・ 古墳、山城など		考古博物館

◆学習内容

①古墳時代・渡来人の足跡を訪ねる

コ ー ス：座光寺地区（高岡1号古墳、畦地1号古墳、北本城古墳など）

所用時間：2～3時間

②古墳時代・石室の形がちがう古墳を見てみよう

コ ー ス：松尾地区（姫塚古墳、上溝天神塚古墳、おかん塚古墳、水佐代獅子塚古墳など）

所用時間：2～3時間

③古墳時代・古墳群を訪ねる

コ ー ス：竜丘地区（塚原二子塚古墳、馬背塚古墳、御猿堂古墳など）

所用時間：2時間

④古墳時代・三河地方との交流がみえる古墳

コ ー ス：阿南町、下條村（種田塚古墳、大畑古墳、伊賀塚古墳など）

所用時間：2時間

⑤戦国時代・小笠原氏の山城

コ ー ス：松尾城跡・鈴岡城跡など

所要時間：2時間～1日

※このほか、関所跡・狼煙跡・石造文化財などその地域ごとに特色ある遺跡めぐりが可能です。

◆学習方法

- ・ 目的にあったコースを設定し現地見学を行います。下見等の準備、雨天時の対策が必要となります。十分な事前打ち合わせが必要です。

◆おすすめ

- ・ 総合学習・遠足・PTA行事、クラスレクなど。



おかん塚古墳（飯田市松尾）



塚原二子塚古墳（飯田市竜丘）



鈴岡城跡（飯田市駄科）

●美博バックヤードツアー

学習テーマ（新教育指導要領との関係など）	対 象	来館・出前
<ul style="list-style-type: none"> ・美術館や博物館を知る ・地域の美術館などとの連携 	小・中学生	美博
教 材	人 数	担 当
	5～10名	学芸係

◆学習内容

- ・美術博物館の館内の部屋や施設などを見学してまわります。美術館・博物館がどのような役割をもち、日々どんな仕事をしているのか、紹介します。

◆学習方法

- ・モデルコース： 正面ロビー（出発）→企画展示室→常設展示室→学習室→科学工作室→標本作成室→資料処理室→プラネタリウム室→講堂→展望台→館長室→会議室→外来研究室→学芸員室→収蔵庫前室→機械室→荷解室→市民ギャラリー→正面ロビー（終了）
*その時によってご案内できない所もあります。



◆おすすめ

- ・美術博物館の開館以来の事業や、仕事内容について、講堂で話を聞くと、より理解が深まります。

V.その他の利用





その他の利用

■美博・考古博の事業への参加

美博・考古博では子ども向けの講座やイベントを数多く行っています。ぜひ児童・生徒の皆さんに参加をお勧めください。具体的な開催日は「年間スケジュール表」やホームページ、そのたびのチラシや広報いっだ・新聞報道などをご覧ください。

■職場体験

美博と考古博では、小中学生の職場体験を受け入れています。その内容は、美術・人文・自然部門や考古博の各分野で、資料を整理したり、刊行物の発送作業を手伝ったり、あるいは受付やプラネタリウムでお客様に接したりとさまざまです。

■職員研修

学校の先生を対象にして講座をもつこともできます。学芸員・専門研究員の専門とする話や、あるいは展示や施設を学校の利用に供するための利用方法の説明などです。遠慮なくご相談ください。

■PTA学習・親子レク

さまざまなグループの要請に応じて、講座やプラネタリウムの観覧などできます。

■学芸員への相談

子どもたちの一研究の相談にのったりすることができます。特に自然部門では標本の集め方や自由研究のまとめ方などの相談に応じています。

■作品の展示・発表

美博の子ども向け講座「子ども美術学校」の作品展や、「小中高校生写真賞」の応募作品展などをロビーや市民ギャラリーで行っています。

その他、市民ギャラリーを学校やグループで展示に利用するためには、毎年2月第1日曜日に行う抽選会に参加いただくか、抽選会前にご相談いただく必要があります（7-2「市民ギャラリー利用のご案内」参照）。場合によっては、子どもたちの一研究などをロビーの一面に展示することもできます。まずはご相談ください。

■備品を利用する

美博には特別な調査・観察器具、展示用具などがそろっています。中には、館内での使用や館外貸出が可能なものもありますので、ご希望の器具があればご相談ください。

例：電子顕微鏡（館内）、天体望遠鏡、簡易な展示ケース など

■資料を利用する

美博や考古博に所蔵する実物の作品や資料、レプリカやパネルの中には、館内での使用や館外貸出が可能なものがあります。ご相談ください。

■図書などを利用する

美博や考古博には図書館にない専門分野の本や雑誌がそろっており、美博では学習室で土・日曜日に公開しています。それ以外の平日や考古博でもご利用は可能です。また、映像資料（DVDなど）もありますので、利用をご希望される際はご相談ください。

美博・考古博主催事業への参加

●美術博物館

※年度によって内容等が変わることもあります。

◆美博まつり

美博ならではの楽しい多彩なワークショップを開催します。

日本画の絵の具を作る



石の図鑑づくり



葉拓アートで手作りうちわ



時 期：7月末～8月中旬頃の土・日曜日（2日間）

対 象：幼児、小・中学生（家族づれで参加できます）

参 加 費：入館無料（ワークショップによっては参加費を徴収）

内 容：ワークショップ（化石レプリカ、勾玉づくり、バックヤードツアーなど多種）
プラネタリウム、展示ほか

参加方法：チラシ、新聞、「広報いいだ」など広報します。当日参加自由。

◆子ども美術学校

絵を描いたり工作をしたりする図画工作講座です。

時 期：5月～12月（各月1回）

対 象：小学校3～6年生 約60名

内 容：絵画、工作、展覧会鑑賞など

参加方法：4月に小学校を通して募集します。



◆お絵かき教室

「からだをいっぱい使ってお絵かきしよう！」

現代美術家、前沢知子さんを講師に、床一杯に広げた紙に絵の具で絵を描きます。子どもの自由な発想を引き出すことが目的のプログラムです。

時 期：1月～3月（1日間）

対 象：2歳～10歳 約20名（保護者を含む）

参加方法：新聞などを通じて募集します。



◆子ども写真学校

スポーツカメラマン水谷章人さんを講師に、写真の撮り方を学ぶ講座です。カメラとプリンターは館で用意します。

時 期：8月（1日間）

参 加 費：300円くらい

対 象：飯田下伊那の小中学生 約15名

参加方法：新聞などを通じて募集します。



◆子ども科学工作教室

三極モーターやソーラーカー、天体望遠鏡、ロボットなどを、飯田下伊那の企業の技術者の皆さんの指導で製作します。年に4回ほど開催し、そのつど募集します。

時 期：6月・9月・11月・1月頃の各1日

参加費：1000円～2500円

対 象：小学校4～6年生

参加方法：新聞や「広報いいだ」などを通じて募集します。



◆電子顕微鏡観察・自然相談

昆虫の体や鱗粉、花粉などを電子顕微鏡で観察したり、自然分野の相談に応じたりします。

時 期：毎週日曜日10：00～11：00、14：00～15：00

参加方法：開催している時間なら、いつでも誰でも参加できます。

◆美博小中高校生写真賞

飯田下伊那の小中高校生を対象とした写真賞です。

毎年7月に募集開始、2月〆切、3月末に授賞式と作品展を開催します。

画題は自由。1人2作品まで。6つ切

参加方法：チラシや新聞、「広報いいだ」などを通じて募集します。

●考古博物館

◇実施場所：飯田市考古博物館

◇参加方法：新聞などを通じて募集します。応募多数の場合は抽選となります。

◆古代のお金を作ろう！

富本銭のレプリカを、金属を溶かし枝銭の鋳型に入れて作ります。

時 期：年3回（夏・秋・3月）

参加費：小中学生 300円 高校生以上400円

◆ぎやまん工房

古代の貴重なアクセサリー、ガラス玉（とんぼ玉）を作ります。

時 期：年6回 程度

参加費：小中学生 400円 高校生以上500円



◆縄文土器をつくってみよう！

粘土で縄文土器を作ります。

時 期：夏に製作し、秋に庭で野焼きします。

参加費：小中学生800円 高校生以上1000円

◆考古博工房

勾玉、ポシェット、マット、土器の拓本などをつくります。

時 期：夏休み（8月） 冬（2月）

参加費：100円～300円



◆夏休み古代体験

火おこしや、石器や土器を用いての草刈り、調理などを体験します。

時 期：夏休み（7月）

参加費：小中学生800円 高校生以上1000円

職員研修

●描くことが楽しくなる絵画の指導

学習テーマ（新教育指導要領との関係など）	対 象	会 場
・ 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てる	小学校職員	美博学校
教 材		担 当
・ 水彩絵の具セット		美術部門

◆研修内容

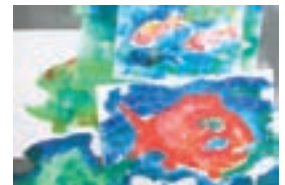
- ・ イメージのふくらませ方、対象の見方、絵を描く気持ちの持たせ方。
- ・ 水彩用具や表現材料の使い方、生かし方。
- ・ 線描や彩描の指導の仕方についての簡単な実技。
- ・ 各学年に即した題材設定や表現の仕方や絵の見方。

◆研修方法

- ・ 各学年の児童のさまざまな作品を参考にして、題材の設定の仕方や導入の仕方、表現力の高め方等を具体的に行います。
- ・ 希望に応じて簡単な実技も行います。

◆おすすめ

- ・ 1学期～2学期の始め頃が適切です。



●幼稚園・保育園児の造形表現

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・ 幼児の発達段階を踏まえた造形表現活動のあり方	幼稚園・保育園の職員	美博学校
教 材		担 当
・ 日常の幼児の作品		美術部門

◆研修内容

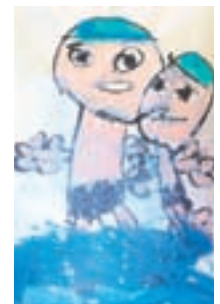
- ・ 発達段階を踏まえた幼児の絵の見方。
- ・ 年齢に適した題材と支援のあり方。
- ・ 幼児の造形表現の持つ意味と幼児に適した具体的支援のあり方。

◆研修方法

- ・ プロジェクターを使用して、具体的な作品例を見ながら、発達段階を踏まえた絵の見方や支援の仕方について研修します。
- ・ 参加者が持参した作品を見合い、評価の仕方や支援の仕方を研修します。

◆おすすめ

- ・ 幼稚園、保育所職員の研修会で活用を。



職員研修

●春草と仲間たち —日本美術院の活動—

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・日本の美術作品についての理解や見方を深める。	小・中学校の職員	美博学校
教 材		担 当
・展示作品 ・当館で用意する映像		美術部門

◆研修内容

- ・新しい日本画の創造をめざして活動した春草と仲間たちについて学びます。明治31年（1898）、理論家の岡倉天心は、菱田春草や横山大観、下村観山ら青年作家たちをあつめて日本美術院を結成しました。そこでは朦朧体などの様々な画風が研究され、日本画の近代化が図られてゆきます。

◆研修方法

- ・パワーポイントを使って、春草や美術院作家の活動を追いつつ、彼らの研究の足跡を紹介します。

◆おすすめ

- ・コレクション展の見学との組み合わせ



木村武山「後赤壁之図」

●伊那谷画人伝

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・郷土の作家 ・美術史 ・地域の美術館などの利用と連携	小・中学校の職員	美博学校
教 材		担 当
・展示作品 ・当館で用意する映像		美術部門

◆研修内容

- ・伊那谷にゆかりの画家・作家について学びます。
主な人物はつぎの通りです。

作家名	生没年	概 要
白 隠	1685～1768	江戸時代の画僧。静岡出身。伊那谷に来錫。
佐竹蓬平	1750～1807	江戸時代の南画家。伊賀良出身。
鈴木芙蓉	1752～1816	江戸時代の南画家。伊賀良出身。
原 蓬山	1823～1878	江戸時代の南画家。清内路出身。
富岡鉄斎	1837～1924	明治～大正時代の南画家。京都出身。伊那谷に来遊。
大平小洲	1849～1930	明治～大正時代の南画家。千代出身。
安藤耕斎	1862～1939	明治～大正時代の南画家。川路出身。
福與悦夫	1901～1981	大正～昭和時代の日本画家。上久堅出身。
亀割 隆	1901～1981	大正～昭和時代の日本画家。下條村出身。
仲村 進	1929～2004	昭和～平成時代の日本画家。松尾出身。
正宗得三郎	1883～1962	明治～昭和時代の洋画家。岡山出身。三穂に疎開。
須山計一	1905～1975	昭和時代の洋画家。鼎出身。
藤本四八	1911～2006	昭和～平成時代の写真家。松尾出身。
北原三佳	1895～1972	昭和時代の鍍金家。山本出身。

◆研修方法

- ・伊那谷ゆかりの作家について、一人を取り上げ学びます。パワーポイントなどを利用して解説します。
- ・コレクション展に展示中であれば、作品を鑑賞しながらの講座もおこなえます。

職員研修

●飯田市名誉市民第1号 日夏耿之介

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・文化の発展に大きな働きをした先人の業績	小・中学校の職員	美博学校
教 材		担 当
・日夏耿之介記念館（来館）		人文部門

◆研修内容

- ・飯田市街のリンゴ並木通りに立つ、黒い六角形の石碑をみたことがありますか？ それは日夏耿之介（1890～1971）の詩碑です。この学習では、詩人・英文学者・翻訳家として数多くの著書をのこした日夏耿之介の人と作品について学びます。



◆研修方法

- ・パワーポイントで耿之介の業績を学びます。

◆おすすめ

- ・日夏耿之介記念館の見学

●日本の民俗学の創始者 柳田國男

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・文化の発展に大きな働きをした先人の業績 ・受け継いできた文化財	小・中学校の職員	美博学校
教 材		担 当
・柳田國男館（来館） ・祭りや民俗芸能のDVD ・『遠野物語』など		人文部門

◆研修内容

- ・民俗学とは、人びとの生活や祭り、昔話・言い伝えなどから、日本人や地域の歴史をさぐる学問です。これを創った柳田國男（1875～1962）は、もと飯田藩士だった柳田家に養子に入った人です。この学習では、柳田國男の業績と、地域で伝承する民俗文化財の大切さを学びます。



◆研修方法

- ・パワーポイントを使って、柳田國男の業績を学習します。
- ・柳田國男館の見学をあわせることも可能です。
- ・伊那谷の祭りや年中行事などの学習とあわせることもできます。

◆おすすめ

- ・柳田國男館の見学

職員研修

●伊那谷の仏像

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・受け継いできた文化財	小・中学校の職員	美博学校
教 材		担 当
・伊那谷を代表する仏像の画像		人文部門

◆研修内容

- ・伊那谷には、古くから地域の人たちが大切に信仰してきた貴重な仏像がたくさんあります。その仏像のどこを、どんなふうに見ればよいのか、基本的な見方を学びます。
- ・仏像を造り、拝み、守り伝えてきた昔の人たちの思いに近づくことで、仏像をはじめとする文化財を大切に作る心を育みます。
- ・取り上げる主な仏像は、以下の一覧のとおりです。

◆研修方法

- ・プロジェクターをつかって仏像の写真を見ながら解説をします。
- ・もし遠足や社会見学などでお寺をたずねる機会があれば、同行することもできます。

◆おすすめ

- ・郷土文化の学習



誉田別尊坐像
(飯田市・鳩ヶ嶺八幡宮)



阿弥陀如来坐像
(飯田市・光明寺)



薬師如来坐像
(高森町・瑠璃寺)

<参考>飯田下伊那のおもな仏像

指 定	名 称	制作年代	所 蔵 者
重文	阿弥陀如来坐像	平安時代	光明寺（飯田市久米）
重文	誉田別尊坐像	正応元年(1288)	鳩ヶ嶺八幡宮（飯田市松尾）
重文	薬師三尊像	平安時代	瑠璃寺（高森町）
県宝	大鑑禪師（清拙正澄）坐像	南北朝時代	開善寺（飯田市上川路）
県宝	十一面観音菩薩立像	平安時代	立石寺（飯田市立石）
県宝	阿弥陀如来坐像	平安時代	合原阿弥陀堂（下條村）
県宝	阿弥陀如来坐像	平安時代	円満坊（松川町）
県宝	聖観音菩薩立像	平安時代	瑠璃寺（高森町）

●考古学からみた飯田下伊那の歴史（原始～近世）

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・受け継いできた文化財	小・中学校の職員	美博 学校
教 材		担 当
・土器・石器などの出土品		考古博物館

◆研修内容

- ・数多くの遺跡の発掘調査によって、家・墓などの跡や土器・石器などが発見され、飯田下伊那の原始から近世の歴史が明らかとなりました。考古学の分野から地域の歴史を学びます。

①考古学からみた飯田下伊那の歴史

- ・原始（旧石器・縄文・弥生時代）、古代（古墳時代、奈良・平安時代）、中世（鎌倉・室町・戦国時代）、近世（江戸時代）について概説的に学びます。各時代について限定することも可能です。



塚原二子塚古墳（飯田市竜丘）

②飯田下伊那の遺跡について

- ・原始～近世について概説的に、あるいは時代を限定してくわしく学びます。
- ・古墳、中世の山城など全国的にみて特徴的なテーマを取り上げることもできます。

③遺跡から出土した出土品について

- ・土器・石器・金属器・土製品・木器など、昔の人が使った道具について学びます。

④地域の歴史について

- ・地区や学校区など地域を限定して、考古学による歴史について学びます。

⑤文化財について

- ・五輪塔・庚申塔などの石造文化財について学びます。

◆研修方法

- ・パワーポイントで遺跡・遺構・出土品などの写真や表・図面を使った学習となります。
- ・前方後円墳などの主要古墳、松尾城跡・鈴岡城跡などの山城の現地見学と組み合わせると効果的です。地域限定の遺跡・文化財見学も可能です。
- ・土器や石器の実物資料を手にとりて実感していただくことができます。出前でも実物資料を持参しての学習が可能です。

◆おすすめ

- ・考古博の常設展示の見学や、遺跡見学と組み合わせると、より効果的です。

●生物多様性の保全を考える

学習テーマ（学習指導要領との関係など）	対 象	会 場
・生物多様性の保全	小・中学校の職員	美博学校
教 材		担 当
・パワーポイントによる映像		自然部門（植物）

◆研修内容

- ・生物多様性とは何か？その保全とは何か？基礎を学習します。
- ・希少種の保全について学習します。
- ・生物多様性に関わる問題を学習します。

◆研修方法

- ・パワーポイントで、図や写真を見ながらの講座です。

◆おすすめ

- ・郷土の自然、生物多様性、自然保護、社会問題の学習





市民ギャラリー利用のご案内

1. ギャラリーの利用基準

自然、人文、美術および広く文化芸術に関する創造活動の発表の場として、飯田下伊那地域に住所を有する個人あるいは団体が使用できます。

2. 使用できない場合

- ①公の秩序、善良な風俗を乱す場合は使用できません。
- ②美博の管理運営上支障を及ぼす場合（例 火災、建築物破損等の危険が大きい場合）は使用できません。
- ③営利を目的とする場合は使用できません。

3. 使用の日時・時間

①期 間

準備、片付けを含めて、6日間の使用を原則とします。区分けは予め当館で設定します。

②時 間（次の時間を厳守してください。）

午前9時30分 ～ 午後5時（時間厳守）

初日の作品展示・準備作業は、朝9時30分からです。（午前9時30分までは入館できません。）

最終日は午後4時までが展示時間です。片付けは午後4時から午後5時です。

③利用できない日

休館日（月曜日、祝日の翌日、年末年始、臨時休館日）、市または美術博物館の企画がある時。

4. 申請手続き

（1）申込み日時

- ①ギャラリー使用申請は、4月から翌年3月までの1年間を受付します。受付は、2月第一日曜日から開始します。ただし、2月第一日曜日が休館の場合は次の日曜日を開始日とします。
- ②使用申請受付の初日に使用希望者に集まっていたら、展示時期を決める抽選会を行います。1団体または1人で、1件のみの申請とします。
*抽選会は午前10時開始予定です。詳しくは、ホームページ・広報いいた等でお確かめください。
- ③抽選会以降は、随時受付します。受付は、開館日の午前9時30分から午後4時30分まで、当館窓口で行います。電話での受付は行いません。

（2）申請書

- ①美術博物館使用許可申請書（様式第1号）
- ②市民ギャラリー実施計画書
- ③市民ギャラリー備品借用願い
- ④返信用80円切手（許可書を郵送希望の方）

※申請を取り消す場合または、変更する場合は、おおむね1ヶ月前までに当館にご連絡ください。

5. 使用について

- ①使用料は無料です。
- ②使用者は使用権を譲渡、転貸したり、申請書に記入した目的以外に使用しないでください。
- ③当館の条例、規則、本要領に違反した場合は、使用許可を取り消すことがあります。

6. 使用時の留意事項

①使用の開始

・使用期間の開始時には受付に許可書を提示して入館し、担当職員立ち会いのもと、使用者において準備を行ってください。

②展示について

- ・使用の際、消火器、消火栓、非常口等当館の防災施設の機能を妨げないようにしてください。

③掲 示 物

- ・看板等の作成、取り付け、撤去等については、全て使用者の責任で行い、指定された場所へ掲示、設置してください。入口看板の寸法は、縦150cm×横60cmです。

④使用期間中

- ・使用期間中は使用者において常時一人の係員をおき、展示された資料や備品等の管理に責任を持ってください。
- ・観覧者から観覧料を徴収しないでください。
- ・物品の販売、募金等を行うことはできません。
- ・観覧者へ飲食等の接待はいっさい行わないようにしてください。
- ・お祝い等の生花は持ち込まないでください。

⑤使用の終了

- ・担当職員立ち会いのもと、片付けを行い、備品等の点検を受けて、施設を現状に回復してください。破損、紛失の場合は、賠償を求めることがあります。
- ・片付けの開始と終了時には、受付へ報告をしてください。

⑥そ の 他

- ・一般への広報活動は使用者が行うものとし、使用会場名は「飯田市美術博物館市民ギャラリー」としてしてください。また初日と最終日は観覧時間が異なりますのでご注意ください。
- ・要項、目録、資料等のある場合は、当館にその見本を提供してください。
- ・当館から貸与した白布等は、クリーニングしてお返しください。

7. 市民ギャラリー概要

○壁面	高さ420cm	○展示台	5個	○三脚	1台
○ワイヤー	100本	○長机	20脚	○受付用椅子	6脚
○工具・金槌	一式	○看板立	1基	○白布	8枚
○ピン・針など展示具	一式	○衝立	200cm×200cmが5個		

